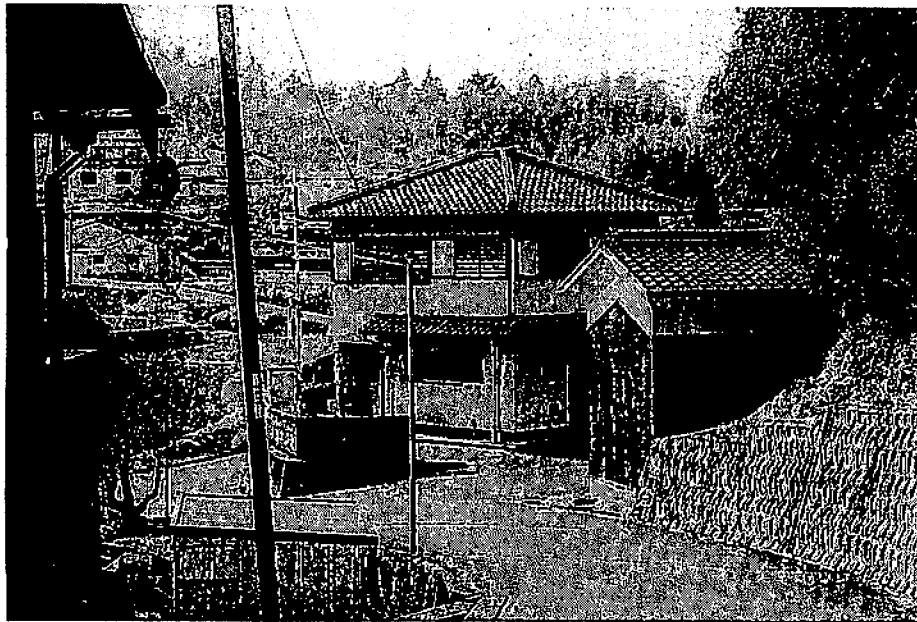


柳 谷 里 づ く り 計 画



平 成 1 2 年 4 月

柳 谷 里 づ く り 協 議 会

目 次

I	地区の現況と目標	
(1)	地区の現況と課題	1 ページ
(2)	計画目標と方針	2
II	里づくり計画	
1	農業振興計画	
(1)	生産基盤の整備	2
(2)	地域の営農	3
①	特産物の生産	3
②	集落営農組織の検討	3
③	農業用水の確保	3
④	荒廃農地の活用	3
2	環境整備計画	
(1)	福祉・教育施設の設置	3
(2)	下水道の整備	3
(3)	生産・生活道路の整備	3
(4)	地域の環境整備	4
(5)	地域づくり活動	4
3	土地利用計画	
(1)	農村用途区域の設定	4
(2)	活性化のための施設用地	4
4	景観の保全及び形成に関する計画	
(1)	農村景観	5
(2)	自然景観	5
(3)	歴史的景観	5
5	計画地区と市街地との交流に関する計画	
・	市民農園の開設	5
・	朝市、沿道直売	5

柳谷里づくり計画

毎日の生活が楽しくなるむらおこし・柳谷

— 後継者が住みたくなる里づくり —

I 地区の現況と目標

(1) 地区の現況と課題

- ① 計画地区は、平成10年6月1日に設立（市認定平成10年6月26日）された別図の柳谷里づくり協議会（柳谷集落）の区域とする。
- ② 市街化区域に接する市街化調整区域に位置し、藤原台団地に隣接する。
- ③ 平成10年7月、地域の一部が暫定市街化調整区域から市街化調整区域に編入された。
- ④ 神戸電鉄岡場駅から約3kmと交通至便の位置にあり、地区内に六甲北有料道路柳谷インターがある。また、主要地方道市野瀬有馬線が通過している。
- ⑤ 三ノ宮まで六甲北有料道路、阪神高速北神戸線、新神戸トンネルを経由すると30分、神戸電鉄「五社駅」まで自動車約4分と近く、神戸電鉄岡場駅まで自動車約7分の距離であり、当駅から三ノ宮まで神戸電鉄、北神急行を経由すると30分と都市域に近く交通の便が良いため、典型的な兼業農業地区を形成している。
- ⑥ 農家人口（158人）は集落人口（268人）の59%、農家戸数（34戸）は総世帯数（62戸）の55%で農家は全体の半分にあたり、その構成は、専業農家5戸（14.7%）、第1種兼業農家2戸（5.9%）、第2種兼業農家27戸（79.4%）と第2種兼業農家が大半となっている。
- ⑦ 農業経営は、自給的個別経営農家がほとんどであり、効率的とはいえない農業を営んでいる。
- ⑧ 地区の農業生産についてみると、うるち米「キヌヒカリ、ヤマビコ、コシヒカリ、日本晴」、酒米「山田錦」、「かぼちゃ」、「とまと」、「なす」、「すいか」等があるが、大半が水稻栽培である。
- ⑨ 地区内の農地は、区画が狭く、農道も未整備であり、谷間の農地を中心に荒廃化が進行しているが、ほ場整備の計画はない。
- ⑩ 下水道は未整備であるが、平成15年頃着工の予定となっている。
- ⑪ 地区には、八王子神社、願生寺などの文化財が存在し、神事祭礼としてお燈祭り、秋祭り、大祓式、地蔵盆が伝統的行事として継承されている。

柳谷地区の農業の概要 (農業センサス等)

	総世帯数 (戸)	総人口 (人)	専兼別農家数 (戸)				農家 人口 (人)	農業従事状態世帯員数(男)			農業従事状態世帯員数(女)		
			総農家数	専業	第1種 兼業	第2種 兼業		自家農業 のみ	自家農業 が主で、 兼業が従	自家農業 が従で、 兼業が主	自家農業 のみ	自家農業 が主で、 兼業が従	自家農業 が従で、 兼業が主
85年	62	262	39	2	6	31	181	13	2	41	30	2	8
90年	62	261	36	9	8	19	168	22	1	35	40	1	10
95年	62	268	34	5	2	27	158	19	2	33	27	-	6

	経営耕地面積 (a)				主要作物別収穫面積 (a)				家畜飼育戸数・頭数			
	合計	田	畑	樹園地	稲	野菜	花	飼料 作物	乳用牛 戸数	牛 頭数	肉用牛 戸数	牛 頭数
85年	1,962	1,865	77	20	1,527	95	42	-	-	-	-	-
90年	1,905	1,870	30	5	1,142	139	69	35	-	-	-	-
95年	1,891	1,833	58	-	1,126	123	46	-	-	-	-	-

(2) 計画目標と方針

当地区が市街地に隣接し、交通至便であること。非農家が多く、また、農家も大半が第2種兼業農家であることを勘案し、生産第一主義でなく、生活を優先する里づくりを進める。具体的には、

- ・ 子供・孫がそこに住みたくなる集落
- ・ そこに住む一人ひとりが自分の集落に誇りと自信を持てる集落
- ・ 日々の生活が楽しくなる人間関係のある集落
- ・ 一度出た人が帰ってきて、また、新規に入ってきて、すぐに農業がやれる場を用意できる集落

づくりを計画の目標とし、

キャッチフレーズとしては

毎日の生活が楽しくなるむらおこし・柳谷

— 後継者が住みたくなる里づくり —

とする。

II 里づくり計画

1 農業振興計画

(1) 生産基盤の整備

当地区は、ほ場整備を実施しておらず、また、年間を通じて農業用水の確保に苦慮している。さらに、農業後継者不足も相まって谷間の農地を中心に荒廃農地が増加する傾向にある。このため、農道・水路の維持管理が不十分となり周辺一体が荒れる結果となっている。当面ほ場整備は計画しないが、長期的には、生活環境の改善のためにも、何らかの対策が必要であり、検討を進める。

(2) 地域の営農

① 特産物の生産

キヌヒカリ・ヤマビコ・コシヒカリ・日本晴を主流とした良質米の生産はもとより、かぼちゃ、とまと、なす、すいか及び果樹類の生産量を拡大し、周辺団地住民等に対し、直売施設を通して消費の拡大を検討するとともに、地域にあった新規作物の導入を図る。

例：水を必要としない「そば」の栽培・加工を検討し、むらおこしを図る。

② 集落営農等組織の検討

全般に農業機械の過剰投資傾向が進行し、赤字覚悟の経営となっているので、今から将来を見据えた経営のあり方を検討する必要がある。このため、農業機械の更新を差し控え、作業の受委託・機械の共同利用への転換策を検討していく。

③ 農業用水の確保

当地区は、以前から農業用水不足に悩まされており、現在もその問題解決に至っていないので、上水及び集落近隣に点在するため池からの用水の活用策を検討する。

④ 荒廃農地の活用

貸農園の開設・花栽培・特産品の生産及び販売等を検討していく。

2 環境整備計画

(1) 福祉・教育施設の設置

柳谷農業協同組合が所有する里山を民間福祉施設（特別養護施設・老人保健施設等）又は、教育施設用地として位置づけ、広く関係先に働きかけ、地域活性化対策の一環として施設の誘致を図る。なお、今後必要に応じて里山に隣接する谷間の農地への拡大も視野に入れた活動を展開する。

(2) 下水道の整備

公共下水道の整備が予定されているものの、現在は未整備であり、快適な生活環境形成のため一日も早い完成を市に要望する。

(3) 生産・生活道路の整備

地区内には、車両（救急車・消防車等）が通行しにくい場所が点在しているので、これに対処するため、用地の提供や関係機関への働きかけを強め、拡幅後には、植樹・花壇等を配置して、環境整備を図る。

(4) 地域の環境整備

- ① 地区内には、荒廃農地が増大傾向にあり、集落の乱れが懸念されるので、これをビオトープ等に活用し、とんぼ・めだかの里としての保護に取り組む。
- ② 安全で快適な集落環境を保全していくため、防火水槽の新設等防火施設の充実を図るとともに、がけ崩れ等危険箇所の総点検を実施する。

〔注〕ビオトープ:安定した生活空間をもった「動植物の生息する空間」のこと。限られた地域に、自然を復元する事を指す。最近、土木や造園関係者の間で注目されており、都市部の河川整備などの際に、ビオトープをつくる動きが活発になっている。

(5) 地域づくり活動

- ・ 八王子神社における諸行事（お燈祭り・秋祭り・大抜式・地藏盆）の伝承
- ・ 願生寺における諸行事の伝承
- ・ 町民運動会への参加
- ・ 婦人会活動の拡充 等々

3 土地利用計画

(1) 農村用途区域の設定

現在、農業保全・環境保全区域として指定されている北六甲有料道路沿いの里山(柳谷農業協同組合所有の約4[㍉])を特定用途区域A区域に変更する。

(2) 個別的土地利用計画

① 農業用施設用地(農舎・温室等)

② 農家住宅・分家住宅用地

③ 公共的施設用地

多目的広場及び駐車場の整備

上記に伴う進入路の設置

④ 活性化のための施設用地

里山を中心に特定用途A区域を設定し、特別養護施設、老人保健施設、教育施設等を誘致する。

4 景観の保全及び形成に関する計画

(1) 農村景観

みどりの聖域と調和した集落環境創出のため、公会堂周辺に植樹・花壇等を配置し、集落環境の整備を推進する。

(2) 自然景観

自然を破壊した上での里づくりでなく、今の自然を上手に使った里づくりによって自然を可能な限り残し、自然と共生できる環境づくりを進める。

(3) 歴史的景観

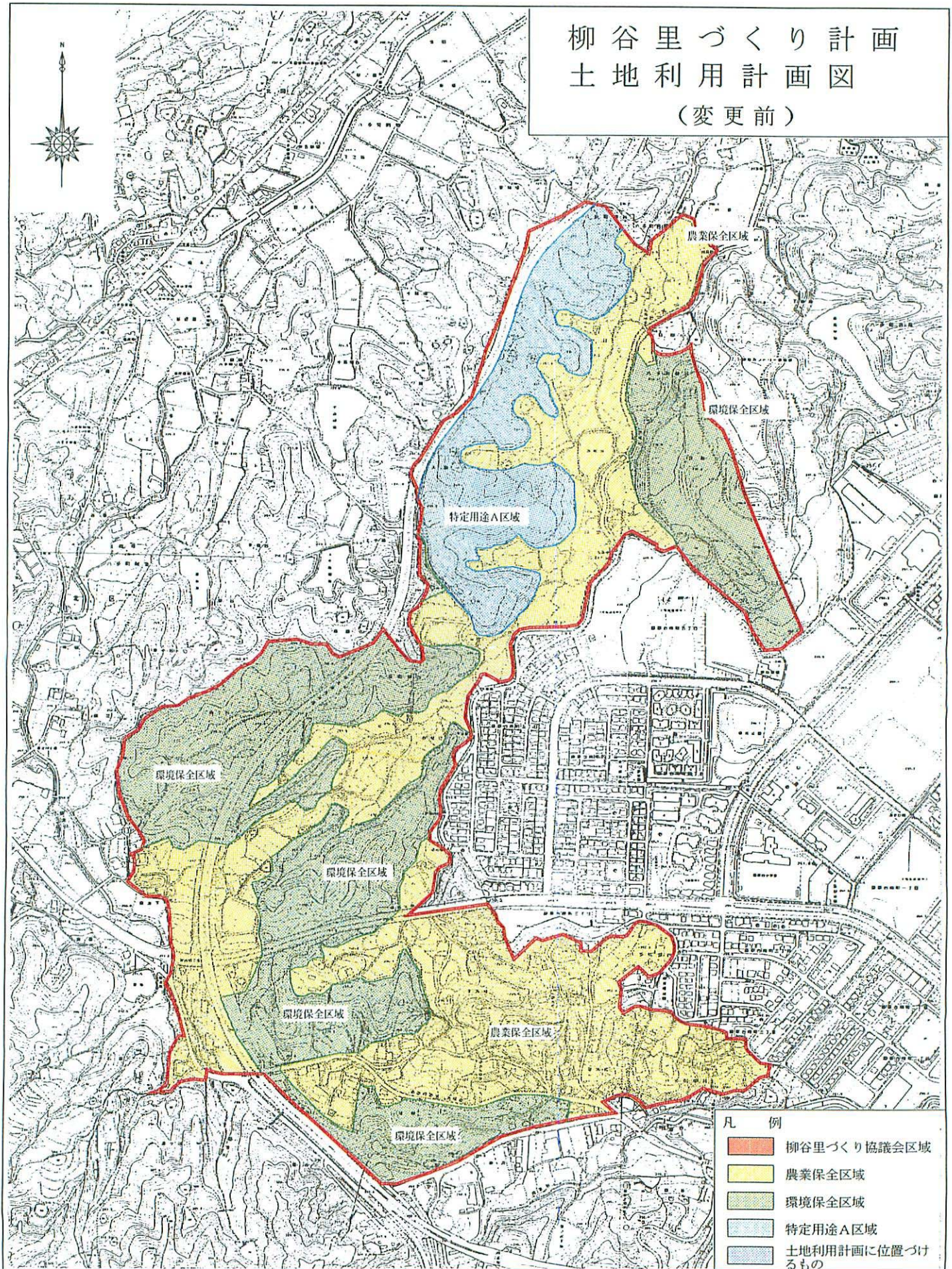
八王子神社、願生寺及び境内の保全を図る。

5 計画地区と市街地との交流に関する計画

都市近郊の有利性を活かし、都市と農村との交流を推進する。

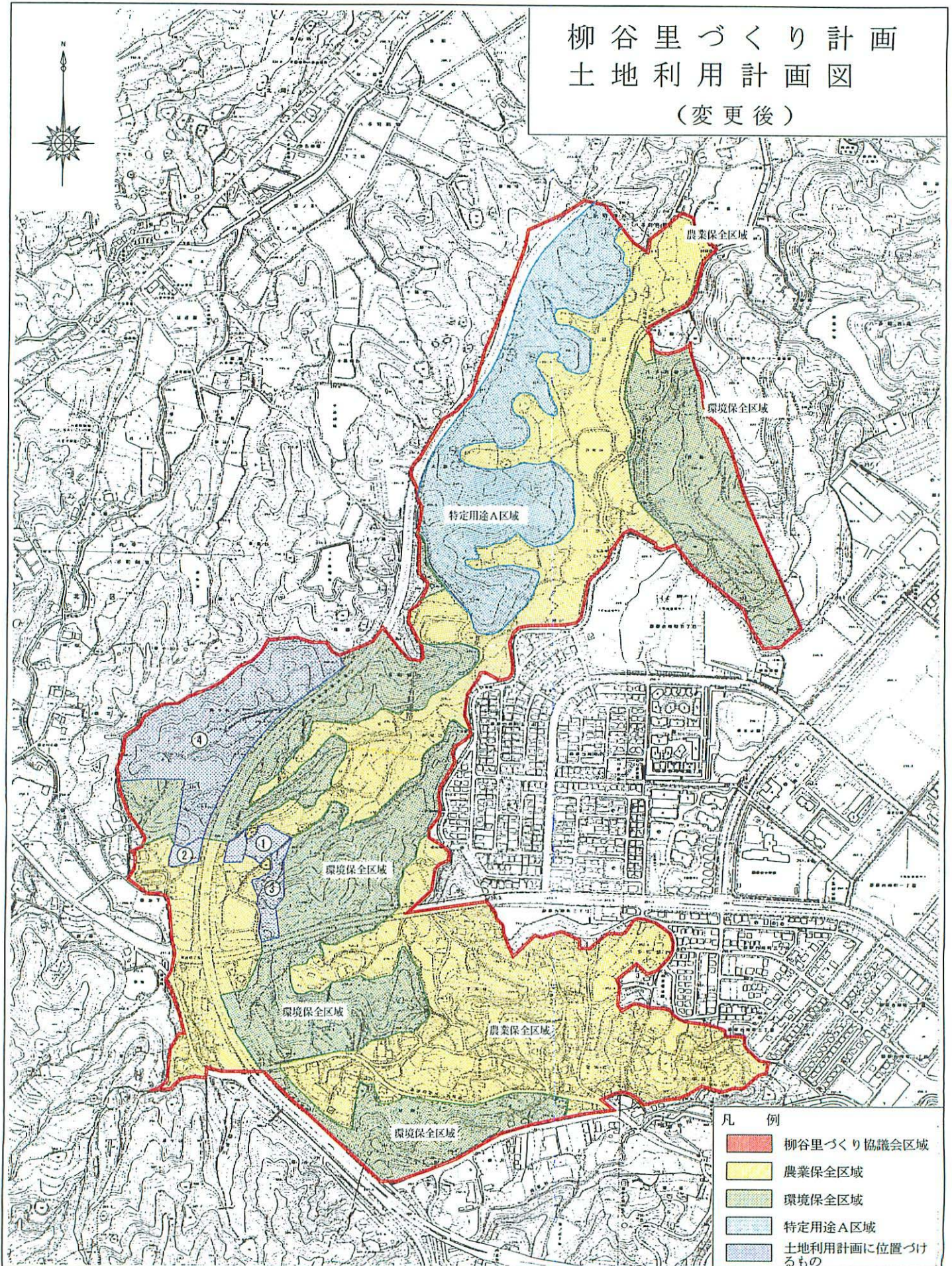
- ・ 市民農園の開設
- ・ 朝市、沿道直売

柳谷里づくり計画 土地利用計画図 (変更前)



- 凡 例
- 柳谷里づくり協議会区域
 - 農業保全区域
 - 環境保全区域
 - 特定用途A区域
 - 土地利用計画に位置づけるもの

柳谷里づくり計画
土地利用計画図
(変更後)



- 凡 例
- 柳谷里づくり協議会区域
 - 農業保全区域
 - 環境保全区域
 - 特定用途A区域
 - 土地利用計画に位置づけるもの



八王子神社



願生寺



公会堂を望む



荒廃農地

里づくり計画策定活動経過

助言者：高橋 信正

年月日	実施内容	参集者
平成11年7月23日	里づくり協議会活動事前調整会	協議会役員 自治会合同役員
平成11年8月25日	アドバイザーを迎え里づくり計画策定に向けて活動開始 <ul style="list-style-type: none"> 午後4時から 里づくり計画策定推進調整会議 集落の現状把握のため現地調査を実施 午後7時から 里づくり計画策定のための集落座談会を開催 	協議会役員 自治会合同役員 協議会役員 自治会合同役員
平成11年11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 農業・生活環境問題の整理 	協議会役員 自治会合同役員
平成11年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> 専門部会の設置にむけて 土地利用部会、農業部会 集落の重点課題の整理 アンケート調査票の配付 	協議会役員 自治会合同役員
平成12年3月4日	<ul style="list-style-type: none"> 専門部会の活動状況 土地利用部会、農業部会 	協議会役員 自治会合同役員
平成12年3月18日	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの集計結果の報告 専門部会の活動状況 里づくり計画（素案）の検討 	協議会役員 自治会合同役員
平成12年4月22日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画（素案）の検討 特定用途区域の設定 専門部会の活動状況 	協議会役員 自治会合同役員
平成12年4月29日	<ul style="list-style-type: none"> 里づくり計画（案）の決定 	協議会役員 自治会合同役員

柳谷里作り計画集落座談会資料

「毎日の生活が楽しくなるムラ熾し・柳谷」

－後継者が住みたくなる里づくり－

1. 里作り計画で大切なこと

(1)「柳谷集落は、今後とも住むに値する集落なのか」

自ら勉強し、グループで討論していくこと。里づくりの考え方と多くの実践例を学び、相互に交流し、自ら里づくりの実践に取り組んでいくことがなにより大切。

(2)「これからの柳谷集落がどうなるのかでなく、どうするのかを考える」

○子供・孫がそこに住みたくなる集落。

○そこに住む一人ひとりが自分の集落に誇りと自信を持てる集落。

○日々の生活が楽しくなる人間関係のある集落。

○一度出た人が帰ってきて、また、新規に入ってきてもすぐに農業がやれる場を用意できる集落。

(3)「生産第一主義ではなく、生活を優先する里づくり」

○活力の元は経済の論理（収入や所得の拡大）一辺倒ではない。

○やっていることが外部から注目されたり他に影響を与えていることに対する喜びがはるかに大きい。

○集落の活性化は女性と高齢者を尊敬する姿勢から生まれる。

(4)「柳谷集落には農業の将来はないと嘆くのではなく、将来はつくるもの」

○荒廃農地、共有農地利用の高度化、販売先の研究、新作物の導入。

○個人個人がバラバラに自分だけの利害で動いて小さな得に満足するのではなく、組織的に協力しあうことによってお大きな得を実現すること。

2. 子供・孫が残らなければ、柳谷集落がなくなることも考える必要があります。

子供・孫は柳谷集落をどの様に考えているか(18名)

(1)柳谷に住み続けたいと思いますか。

住み続けたい 28 %

住み続けたくない 17 %

わからない 55 %

(2)大人は集落の将来を真剣に考えていると思いますか。

考えている 22 %

考えていない 22 %

どちらとも言えない 56 %

(3)柳谷のお祭り・伝統行事を大切にしていきたいと思いますか。

大切にしたい 61 %

大切にしたくない 0 %

どちらでもない 39 %

(4)柳谷の好きなところ (別紙)

(5)両親と仕事 (別紙)

3. 農業生産（及び仕事）は豊かな生活のための手段です。

それにしても無駄が多いと思いませんか。

水稻作付け面積	8.6ha
自己保全	3.4ha
休耕	1.6ha
荒廃田	0.9ha
野菜	3.3ha

労働力 79 名

耕耘機	16 台
乗用トラクタ	22 台
防除期	9 台
田植機	26 台
バインダー	16 台
コンバイン	16 台
乾燥機	19 台

○農業機械だけでおよそ 1 億円以上の投資

(コンバインだけで一日 10 万円の説あり)

○およそ 1100 万円の粗収益を上げるのに 1500 万円の
機械代金 (一年で)

○問題点

水利 (水不足)、荒廃田の増大、過剰投資、ほ場整備、農道整備

4. 女性パワーを発揮しよう

仲間を作って何かをやりだそう。

隣接住宅街への野菜販売

やってみたい 1 割

やりたくない 3 割

どちらでもない 5 割

5. 老人力の活躍の場を提供しよう

民間施設 (特別養護施設、老人保健施設など) の誘致

市民農園のインストラクター

営農集団運営など

6. 集落内の生活の簡素化、民主化、平等化を図ろう

まだ古い体質が残っているようだ。これが里づくりに影響。

7. 兼業農家のおやじはもっとムラのことを考えよう

休みの時は身近なところを見直そう。

8. おわりに

皆さんから戴いたご意見を皆さんに読んで貰いたいのですべて載せます。

(神戸大学 高橋信正)

青少年

問12. 柳谷の好きなところ

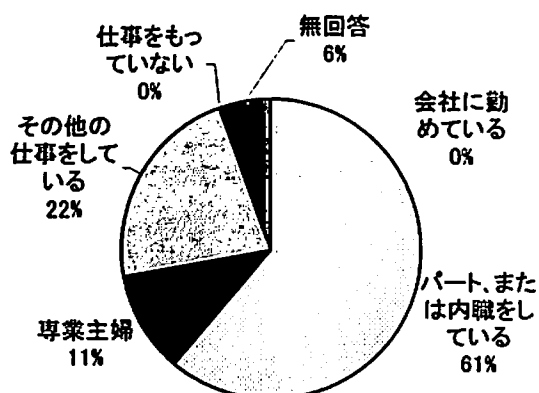
1マスが1人の人の書いた意見である。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然がたくさんある。 ・ 村の人みんなが仲がいい。 ・ お祭がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校から遠くてもたくさん他にはない行事などがある。 ・ 眺めがきれい。 ・ 楽しいことがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夕焼けがきれい。 ・ 山などの自然が多い。 ・ 魚が池にいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊かだ。 ・ 行事がなかなかいい。 ・ 夏はずずしい。 ・ 町にはない良い所だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家が密集していないから、せまくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田畑がある。 ・ 近くに高速道路がある。 ・ 空気がきれい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が多い。 ・ 行事がたくさんある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木がある。 	

問12. 柳谷の改善してほしいところ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊ぶ場所を増やしてほしい。 ・ お店など増やしてほしい。 ・ もっと明るい村にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園がなくてつまらない。 ・ 土砂崩れとかしているところをなおしてほしい。 ・ バスがないから困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し道を平らにしてほしい。 ・ 公園をつくってほしい。 ・ ラジコンのサーキットをつくってほしい。 ・ 交通の便をよくしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 別がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が多くて自然が少し少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店をつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話ボックスをつけてほしい。 ・ 店を建ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドなどを近くに自由においてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス停が近くにない。 ・ お店がない。 ・ 高速がうるさい。

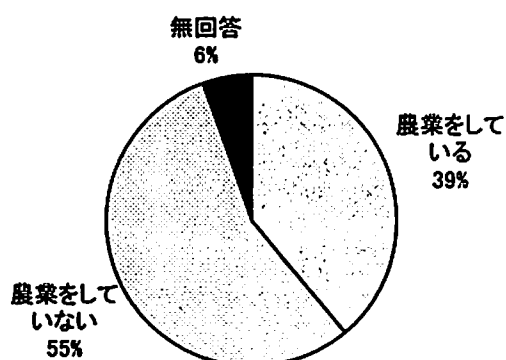
問20. あなたの母親の仕事は何



問21. 母親と仕事についてどう思うか。

- ・ 無理しないでほしい。
- ・ たいへんだと思う。
- ・ 働いてくれるからうれしい。
- ・ 母さん働いてくれるからうれしい。
- ・ これでいい。
- ・ がんばってかせいでほしい。
- ・ 特に何も思わない。(2人)
- ・ 別に考えようとも思わない。
- ・ 別に……

問22. あなたの父親は農業をしているか



問23. 父親と農業についてどう思うか。

- ・ がんばっていると思う。
- ・ すばらしい。
- ・ しんどそうだと思います。
- ・ ああー農業で頑張ってるなー……
- ・ お米を買わなくていいから、うれしい。(野菜など)
- ・ いつも会社、消防とかでいつもがんばってくれているけど、たまには一緒に遊びたい。
- ・ 手伝っている。

問24. 柳谷をよりよい里にするにはどうしたらよいと思うか。

- ・ もっと買い物をするところを増やす。
- ・ 子供が遊べる公園をつくってほしいです。(みんなが楽しく)それとできたら道がせまいから、登校している時が一番怖いです。車が通ると人が歩くとこがせまいから道が広がるといいなーと思っています。
- ・ もっと子供のことも考えて、ラジコンのサーキットやサッカーのできるグラウンドをつくってほしい。
- ・ 伝統の行事を大切にこのまま村をつくっていく。
- ・ 町民運動会、がんばってもらう。(応援団も)行事を続けてもらう。
- ・ 人口をあまり増やさず、森林を大切にする。

問7. 里づくりを進めていく上で、自分が協力できると思うこと

- ・都市化させないように運動する。
- ・柳谷で活動するには戸数、人数ともに少なく、個人負担が大きくなる。家にいるのは高齢者で、私も含めて活動できる年代は、仕事についています。定年後まで責任を持った活動はできません。
- ・パソコンの指導くらい。
- ・労力の提供。
- ・頭は使えないが、体力を使いたい。
- ・体力に応じて協力はしたいと思う。
- ・やればついて行きます。
- ・何か始まればついていく。
- ・休日にお手伝いできる事であれば何でも良いです。
- ・農家、非農家との区別はあるのでしょうか？農地が全くない家でも、協力できることがあれば協力して行くつもりです。
- ・月一回位なら、皆様と一緒に作業をさせて頂けたらうれしいです。
- ・現在、福祉活動を推進していく立場(職務)にあります。職務推進のためにも、可能な範囲で協力していきます。
- ・高齢者、一人暮らしの方のお宅訪問。
- ・稲の作り方を教えてあげる。(但し中級)パソコンを教えてあげる。囲碁を教えてあげる。私の微力な交渉力を提供できる。
- ・ボランティア活動。
- ・協力し合っていないといけないと思いますが、実際には話し合いにもまだ参加したことがないし、今はこういったアンケートに協力できるくらいです。具体的に決められていけば、それに協力できるかなと思います。昼間、仕事をもっている女性にでもできることがあれば、がんばらないといけないと思っています。
- ・乱開発はしない。自然を可能な限り残す。動物(キツネやタヌキ等)も住める里づくり。野鳥も住める里づくり。
- ・開発という名のもとに破壊することが当たり前という今であります。田畑、山林などもあまり人の手を入れ過ぎない以前からの状態を保ったところもあってよいと考えます。道路も地道のままのところも大事ではないか。以上のことでは協力できると思う。

地道のままのところも大事ではないか。以上のことでは協力できると思う。

- ・人口の公園でなく、自然を破壊した上での里づくりでなく、今の自然を上手に使った里づくりをと、思います。里山を大切に、他、湿地を大切に、人間以外の動植物も大切にする。そういう里づくりを、と思います。田んぼが荒れる(政府が悪い)のを見ていると、胸がしめつけられます。私が農業をしていませんで大きなことは言えませんが。
- ・討議に出席する。
- ・今の時点では、里づくり計画が漠然としているのでどんな協力ができるか答えにくいですが、上記の例でいうならば、販売員にもなるし、教えていただけるのなら生産者にもなる。又、福祉施設までもいかないが、宅老所のようなものが建てられれば食事作りや話し相手、趣味の教室(お年寄り向け)の手伝い等もできる。
- ・生産物の共同販売。
- ・高齢者だができる範囲で協力したい。
- ・情報、意見等の提供。
- ・具体的に何をどのようにしようとしているのか、背写真がみえない。話し合いの場には参加したいと考える。
- ・年齢(定年)的な面で、時間的に集会、見学等参加出来ます。

問11. 柳谷里づくり計画にぜひ取り入れとほしい項目

- ・都市型施設の導入。(福祉施設等) 荒廃田などの利用と特産品の生産販売。
- ・共有の土地利用。(地区の収入を考える)地区内に公園。手軽な集会場。(少人数のコミュニティ)以上三つの夢。
- ・乱開発を絶対しない。
- ・何らかの事業。・老人ホーム。
- ・高齢者が参加できるプラン。
- ・自治会活動、婦人会活動との連携で、できないのでしょうか。それ以上の活動を目指しているのでしょうか。
- ・仕事をもつ主婦にも負担になり過ぎない程度に、皆と参加できること。又、新しく柳谷に住まれた方も参加してみたいと思えること。
- ・レクリエーションを設けてほしい。
- ・若い人はやはり、会社etcで収入を得た方が確実だと思う。定年退職をされた方達が、村おこし風に何かに携わっていけるものを計画したい。私自身は、緑を保全した方が良いと考えているので、貸し農園でも作って村の人と町の人との交流を深めていければと思う。そうしながら利益になるものが生まれると良い。
- ・高齢者の生きがいを見つける事業、行事を取り入れたい。
- ・各家庭を基盤とした里のコミュニケーションづくり。
- ・観光農園。農業公園。
- ・休耕田・荒廃田の活用。荒廃田の有効利用。
- ・田畑を多目的に利用していくなど、考えてほしい。また、農業をするにしても、共同でやっていけるような工夫が出来ないか、現状では非常に不効率である。
- ・土地の有効利用。農業の進歩性。
- ・短期的計画でなく、長期的計画。21世紀と旧伝統。
- ・将来はライスセンターの加入も考える時が来るときが来るかも知れない。

問16. ①柳谷をより一層住みよい里にするには？改善すべきところ等。

生活環境の整備

- ・ 同じ国民、市民である以上、都市と同等のインフラ整備を急ぐべきである。
- ・ 下水道の完備（平成14年頃着工の予定になっている）
- ・ 非常に狭い道が多いので、広げる。下水が入る予定があるようだが、早く工事をしてほしい。
- ・ 道幅を広くできるところは広くして、植林をして、美しくする。又、花の種などをまく。（土手や休耕田など）公園のような所を作る。
- ・ 道路の整備。
- ・ 土砂くずれが多いところですので、地盤強化してほしい。
- ・ 下水道の完備。都市ガスを整備。道路整備。（地区内、農道）水の確保。（地区内及び農地内の水路に流れていない）
- ・ 今の時代にあった環境と伝統とのバランス。

協力・話し合い

- ・ もう少し柳谷地区の方々が、話し合いをしてほしい。
- ・ 民主的な地域にする必要がある。いくら「柳谷里づくり」という耳に聞こえの良い運動を計画しても、根本が間違っている。人間が人間として平等に、住みやすい郷土にしなければ絵にかいた餅であり、表面だけ装った地域社会となるでしょう。
- ・ 昔からの地形によるものかもしれないが、考え方が古い。近所との付き合いがオープンなところがない。西と東だけでも違っている。現在の高齢者の考え方は、理解しがたい。
- ・ 胸襟を開いた話し合いの機会から、村全体のコミュニケーションづくり。
- ・ 利己的な人が多いので簡単にはゆきません。
- ・ 個人主義はそれとして、地域をより一層住みよいところにするためには、お互いが認め合い支えあっていく中で、気楽さの中でも真剣な話し合いがなければ生まれません。
- ・ 集会を重ねて人間作りが第一歩だと思います。
- ・ どんな状態が住みよいかは、個人によってまちまちだと思います。私は、現状で十分です。虫の声、鳥の姿、野山の様子、人の心を育ててくれます。広範囲に動きませんので、「悪い」と感じておりません。人と人が仲良くなればいいです。住みよいかどうかは、道路や家などより、人間関係が一番だと思います。
- ・ 住民がまとまって、地域発展の改善に進んで提案できる場を持ちたい。
- ・ 方向付けが若い人達で行われたら、出来る範囲でついて行きたい。
- ・ 公会堂など無料解放して、何時でもいろいろな人が集える場にした方が良くと思います。（もっと積極的に使用した方が良い。）

自然環境・地形

- ・ 緑は守っていく必要があると思うが、荒れた田をどのようにしていくのか、全体的にどのように進めていくのか、ただ放置しているだけではますます荒れていく一方である。

- ・ 昔のしきたりの良い部分は残す。昔のしきたりの必要性の薄いものは簡素化していく。
- ・ 谷が多く平地が少ない。地形の改善を。
- ・ 地形的にむずかしい。つくづく広みの土地だったらナァと思う。

その他

- ・ 住む環境は決して悪くは無いと思われませんが、嫁と姑との対決が住居の関係上さけられないようだ。どうすれば良いか・・・教えてほしい。
- ・ 個人的な山林がある人が現地に居ない家があり、木が大きくなり困っていて、しかも道路まで伸び、いろいろ迷惑している。竹も切っていただきたい。
- ・ 高齢者の共同作業。
- ・ やる気があればもっと早く考えるべし。時期が遅い。この村は結構すぎるからね。
- ・ 農業を楽に出来るように考えていきたい。
- ・ 子供が少なくなってきた中で、今の子供達が将来住み続けて行けるように、年齢層広く取り組めることが何かないか考えたり、(藤原台が隣ということで、子供や親子連れがよく遊びに田んぼや川へ来ています。だから、柳谷だけの行事にも藤原台の子供が参加できるようになれば、とも思ったり。) 子供達、小4以上の子供に、柳谷の将来像、どうなっていてほしいと思うかアンケートに協力してもらっては？
- ・ 寺問題も早く解決が必要。
- ・ 都会の人を入れないこと。
- ・ 若者の参加率up。(祭り、年行事などに) そのためには、旧スタイルの見直し。新規事業を行う。(ポーリング大会等スポーツ、旅行・・・他)
- ・ 子供が生まれて小学校に行くようになった時、すぐ近所に小学校があるのに校区の違いで離れた学校に行かなければならない事。
- ・ 今はわからない。
- ・ 今のままで良い。

問16. ②現在は問題ないが、数年後、または数十年後に困ること。

- ・ 水田管理。(農機具費用の問題)
- ・ 道が狭い。歩道が少ない。
- ・ 近くにゴミステーションを設置していただきたい。(2人)
- ・ 人口減少。人材流出。高齢化。家庭崩壊。農業衰退。
- ・ 後継者が少なくなり、過疎化が進むのでは。
- ・ 食糧不足になった時、荒廃田の再生産が出来なくなる。
- ・ 世代が変わっていき、果たして田畑を守っていけるのかどうか不安である。
- ・ 農業の方向。次世代の引継ぎ。
- ・ 村に他所から人が入ってきて、慣習の違いなど。
- ・ 機械化は進み大型化していくが、農道が整備されていない。
- ・ 何でも新しくしていくと、しきたりや習慣が忘れられてしまい、若い人が困る時が必ずくる

と思います。がけ崩れの恐れのある所は、よく調べてください。

- ・ 特に何も困らない。困るとしたら各々の家でのことだろう。
- ・ 柳谷自治会、婦人会の今日の活動の中にも、すでに困ることがありますが、これらについても解決しようとする姿勢すら見えません。当然、将来困ることもたくさん発生することでしょう。
- ・ 道路あるいは昔から伝わっているものを今の我々の時に協力し、力と知恵を出し合っ、後世の人々に喜んでいただけるようにしておかなければ、と思う。
- ・ 交通機関の不便性から、老後の交通手段、外出方法に対する不安を感じる。
- ・ 20世紀は損か得か、好きか嫌いかの時代であった。21世紀は心の世紀になると思う。
- ・ 農地の有効利用。(対価も安く、3Kが付きまとい、誰もが農業を後継しないのではないか)
- ・ 地域の発展がなく、社会の変革に取り残されること。
- ・ 老人の増加。農地の荒廃。新規住人。(よそ者と地元民との争い)
- ・ 自治会、消防、祭りなどの行事に若者が参加、継続しない。若者の地域離れ。
- ・ お寺・神社・祭りごとに若い人がやっていけるかどうか。
- ・ 婦人会活動も、将来的に見れば消滅していくと思う。とすれば、他の活動(例えば、ハイキング等、スポーツ)での交流が必要となるのではないのでしょうか。
- ・ 神社、お寺の維持。後継者にきちんと継いでおかないと、儀式や方法を全く知らない世代になってくる。その為には、今の親の代、60歳以上の定年後の方。
- ・ 主人が職を失っているかもしれない。子供達が、きちんと独立しているかどうか・・・心配。
- ・ 親が今は元気で普段仕事に行っている間、田畑をきりもりしてくれているが、自分達だけでやっていかなければならなくなった時、仕事+田畑+α里づくり、のことに取り組んでいけるかどうか不安、自信がない。
- ・ 1市街地調整区域内のため、自己所有地を子供や兄弟のためにでも、宅地に転用しにくくしていることが、将来人口減少にもつながり、活力を失う一因となり、過疎化の恐れ有り。
2新規就農のハードルの高さも懸念する。
- ・ 先のことはわからない。

問16. ③里づくりの一つとして取り組んでみたいと思うこと。

- ・ 今ある野菜から始め、徐々にメニューを増やし、ニーズにあった商品を考えて行く。団地に近い為、利用できないか何度も考えている。今、場所作りを考えている途中。(畑地利用)
- ・ 生産物の共同販売。
- ・ 稲作以外の生産物。
- ・ 人を巻き込んで、しょうもない事を始めないでほしい。
- ・ もう少し、柳谷地区が発展する事を祈ります。
- ・ 休耕田等を利用して「トンボの里」をつくる。
- ・ 里づくり=自然破壊と捉えてならないのです。他の町を見ていて、そう思うのです。それで良いのかしらと疑問に思っています。昔の人が大切にしてくださっていたので、現在の自然

があるのです。子孫に良いものを残すには、どうしたら一番いいのか、今のところ模索中です。

- ・ この設問のように「柳谷の里づくり」というのは地域の経済活動のことを目的としているのでしょうか。
- ・ 柳谷周辺の団地に定年退職者も出始め、暇つぶしに農業（野菜作り）をやりたい人が多くなってきて、遊休農地を探す人を数多く見掛けるようになったので、花作り、野菜作りを講義する場を設け、実践し、それを販売する。こんな集まりを作りたい。
- ・ 昔の遊び、落ち葉を使った遊び、木、竹等を使って何かを作る楽しみを通して、喜びを得られることを肌身で体験していただければと思う。
- ・ 宅老所と貸し農園、ログハウス等が併設され、仕事あり、遊び（趣味）あり、喫茶ありという風な一区画がほしい。そこで近隣の人たちと交流したい。そして需要にあわせた供給ができるようになったらよい。又、この前TVで映していましたが、「草の根小学校」というのを開き、参加を募って小さな子供連れの家族と一緒に畑を作り、（一家族3坪位）とれた野菜をその場で料理したり、持ち帰ったり、自然と共存していてほほえましく見ました。
- ・ 農業振興対策も大変結構。より広範囲な里づくり対策、例えば高齢化、少子化、人口減少流出による家庭崩壊対策、家庭教育の確立への対策。
- ・ 減反農地を利用して、又交通の便利な柳谷を利用してできること、又自然が豊かなことを利用できること。
 - 1 季節ごとに取れる自然食品を（春：竹の子、たら目、せり、ミツバ 夏：びわ、みょうが、野菜 e t c 秋：柿、渋柿、野菜）販売する。
 - 2 季節ごとに取れる特産物をつくる。・・・販売できる場所を決める。
 - 3 村の行事(祭 e t c)をオープンにする。
- ・ 篠山の黒豆、二郎のいちご。他地域でも数年かけて知名度を高めている。柳谷の土地柄、年間気候他をよく研究し、21世紀に向けた野菜、果実、無農薬野菜の即売、レストラン、スーパーなど、生産から販売を柳谷で行う。当然、上記に書かれているガーデニング、花、肥料、鉢、プランターなどの生産販売と、造園業も行うなど、ベジタブル a n d ガーデニングセンターを目指してはどうか。

低コストで高い利益を得るシステム作りが必要。そのためには、インターネット、パソコン化・・・他色々あるでしょうが、どれだけ人をこの柳谷に迎え入れる事が出来るかです。
- ・ まだ取り組んでみたいことはありません。

問10. 荒廃田利用のアイデア

- ・ 利益追求を目的とするのであれば、私は不可能と考えております。但し、老後の生きがい活動として何かをするのはいいことであると思いますが、生産する技術の体得が現実問題として難しいと思います。
- ・ 1 柳谷全体として水不足の土地が多いが、今から水利の設備を行うと思えば、莫大な資金を必要とするので、これは当面不可能である。従って、生産する作物は比較的水が少なくても出来る作物を選ぶべきである。例えば、最近国民の食生活において、大きな比重を占めるものとして麺類が挙げられている。(テレビの調査などで) 従ってソバであれば、水があまり必要でないので、栽培できるのではないかと思う。
2 特産物の種類(販路等を含めて)よく研究して選ぶべきである。
- ・ 1 花。(季節に合わせてつくる)
2 くだもの。(いちご、ぶどう)
3 野菜。(ねぎ、たまねぎ、レタス)
- ・ 1 加工品を考えれば(例 醤油、過去に有りました。(大豆利用)もち米の利用)
2 昨日新聞で消費地(団地、都会の一部)と産地との予約栽培方法も考えては?
- ・ もっと力を入れていきたいとは思っていますが、70歳近くになると気力が少なくなることがあります。
- ・ 共同販売所の設置など話し合われたが、場所、経営方法など、これからの研究課題となっている。水利問題、農道拡幅など解決へ進む道を探りたい。
- ・ 耕地整理が良く行われているが、「子孫に美田を残さず」という言葉があるが、美田を残すことさえ出来なかったご先祖様(柳谷の現状)のことを考えると、私もそうなのかと思えます。
- ・ 先にも記述した通り、周囲の団地の農家出身者や、定年でサラリーマンをやめた人の多くが農業をやりたがっている。この人々とともに、どんな作物でも良いから、最低10アール以上作る。これを共同作業で行い、またキノコ等、今までに経験の無いものにも手を伸ばしてみたい。とにかく1人では力は小さい。農業実践学校のような事もやってみてはどうかな?と思う。
- ・ 当地区では、何と云って作るものはないと思う。
- ・ 垂水区などでは、お米を生産するのは、各家の農家であるが、農協に全てだし、乾燥してもらい、玄米でその家の分が戻ってくるシステムが取られている。それでは、家に精米機は必要であるが、乾燥機は不要となる。設問とは関係ないが、そのようなことが考えられないかと思う。

問11. 営農組合を発足させることになった場合の問題点とその解決策。

- ・ 営農組合が発足しても、組合自身に貢献出来ることは何もない。
- ・ 1 使用時期が同一である。
2 使用頻度の差の解消方法。
3 現在の農地の状況では、一人で可能な面積が今まで以上に増加できない。

- 4 人件費の方が生産収益を上回る可能性がある。
- ・ 問題点
費用（現況の地形では？）の面で、両者がどうか。
解決策
土地（水田）の整備と農道の整備が急務であると思います。
 - ・ 収入と時間の問題でしょう。農業のみで生活出来るのなら、可能かな？
 - ・ 問題点
1 組織作り。リーダーシップの取れる人、各方面に付き合いの広い方、あらゆる知識を持ち備えた方、または専門知識を持った方々で組織を作らないと、目標がボケてしまう。
2 利益、収益が上がらなかった場合はどうするのか。・・・組合員の配当は。
3 スタッフ、実作業員は、どのように選出？その給料は。
解決策
まずは高齢者の方の意識を変える必要有り。土地は他人に任せない、先祖の土地は守ると言う様な考えが有る。とにかく、この里づくり計画を実施、運営を行うためには、リーダーシップを取る人と、そのスタッフがパワフルでエネルギーでなければ進まない。専任職業にしないとダメ。役人では進まない。
 - ・ 問題点
1 圃場整備ができないので、無理・・・
2 農業を請合うものがないと思う。無理・・・
 - ・ 問題点
お金です。農機の 円/日（現在個人の所有の機械の提供）と、人力の 円/日（能力の差）との調整。
解決策
中国やソ連の共産国では、どうしているのかわからない。機械購入費の $1 / 1000 = 1$ 人力？または0.5人力のような定数を作ってはどうか。
とにかく新しい営農組合は当面機械購入の必要はないと思う。
 - ・ 問題点
1 サラリーマン家庭が多く、一時に作業が集中し、メリットが少ない。
2 農道等の未整備のため効率が非常に悪い。
3 水が無い。
解決策
水の保有。農道等の整備。
 - ・ 問題点
柳谷里づくりの計画の中で、大口の荒廃田を持っている家は、農業をしていない家がほとんどで、水量の少ない家が、荒廃田の多い農業のできない家である。
解決策
このような家には国も転作の免除をし、生産者を斡旋する事。

- ・ 問題点

作付け品種が同じで、作業日程の調整が難しい。地形的に大型機械の入らないところがある。

解決策

農業部会で取り組む。

- ・ 問題点

1 営農組合を結成するに当たっては、最初から大人数の参加は難しいと思うので、最初は少人数からでも出発して、営農組合の意義を一人でも多くの人に理解してもらうよう、啓蒙して徐々に輪を広げて行くようにすればよい。

2 荒廃田の借受。(荒廃田の土地所有者は非農家で地区外に居住している人が多い。)

3 借地料をどうするか。

4 農機具の調達、及び肥料等の調達資金。

解決策

2、3については、荒廃田を復元して農地として利用すれば土地の保全にも役立つ等、土地所有者の理解を求める。借地料については、里づくりの意義を理解して頂き、最小限に願います。

4 農機具については、現在自己が所有している器具を持ち寄って使用すれば、農機具の有効利用にもなる。肥料・農薬等の購入資金は、最初各自の出資を必要とする。

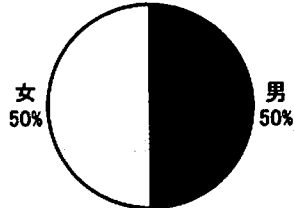
ある。非常に珍しいものが沢山ある。百ではなく千の単位でありますよ。いいところですねえ。しかし、この状態がいつまで保たれるか、心配です。」あれから十年余りで、どんどん破壊され、土地や道端の植物が姿を消しました。本当の里づくりとは何なのでしょう。地球上に住んでいるものとして、生ゴミの再利用は大変良いことと思います。

- ・ 女性の意見を取り上げてみたら、と思う。
- ・ 月に一回位、小さなグループを作り、手芸とか園芸とか、好きな人だけ日を設けて座談会形式をとるなりして、少しずつ発展して行くようにすればどうでしょうか。バイトもしている方もありますので、その点話し合っただけではいかがですか。
- ・ 結婚祝や出産祝いなどの内祝の品が、押入れや蔵に山のようにたまっていきます。タオル、シーツ、石鹸など・・・使い切れない品物をもらう内祝の制度を、柳谷の中だけでもやめるというような事はできないものなのでしょうか。我家の蔵の中には、人数分には不足した食器や（7人家族に5コ入りをもらっても使えない）タオル、シーツ、バスマット、などが眠っています。お付き合い（近所づきあい）の簡素化を考えていただけませんか。
- ・ 荒廃田を利用して、何かを作り、育てる事は、とても良い事だと思います。それには指導者も必要です。最近では、隣近所で顔を合わせて話をする事も少なくなりました。色んな時代が混ざり合っただけで、一つのを生産する事は楽しいかも知れない。しかし、働いている人がほとんどの現在、難しい事だと思います。
- ・ 十分な話し合いの上で取り組んで行かないと、スタートを間違ったら一部の人たちだけが、一生懸命になっても里づくりとは言えないので、時間をかけてやって欲しい。一部の人たちだと責任感から負担になってくると思う。
- ・ 兼業農家が多い中で、実際に里作りに協力できる時間のある人がどれだけいるか、又、そのようなことをやっていることも知らなかった者としては、一部の人で終わってしまうのではないと思う。何かとホームヘルパーや介護講習と昨今言われてもはやされているが、簡単に人のお世話などできるものではなく、講習や知識だけに終わると思われる。ホームヘルパーの養成は、その地位の確保、収入の安定などが必要。その為には、もっと制度を確立すること、やる気があるならボランティアから始めてみる方が良いと思う。
- ・ 女性も男性と同じく会社勤めをされていて、家庭にいる方は子育ての間だけですので、今のままのほうが良いのと違いますか。
- ・ 実際に特産品を作るとなった時、今現在、田畑を手伝ったりしておられる方が何人ほどおられるでしょうか？又、非農家の方もおられるのでは？そういう方でも参加できることがあるか、参加したいと思えることがあればいいのかなと思います。仕事をもつ主婦でもできることがあれば取り組みたいと思います。
- ・ 他からの転入のため、あまり深くかかわっていないため良く分かりません。
- ・ もう少し、柳谷地区に娯楽の施設場所が欲しいものです。
- ・ 特産品を生産する・・・と言っても、最近では仕事（会社、パート）を持っておられる方が多いので、実際に参加できる人は少なく、大変なのではないでしょうか？

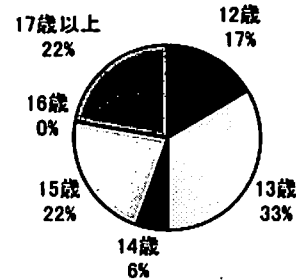
柳谷青少年対象アンケート集計結果

柳谷に在住する12歳～18歳の青少年、合計18名の方に回答していただきました

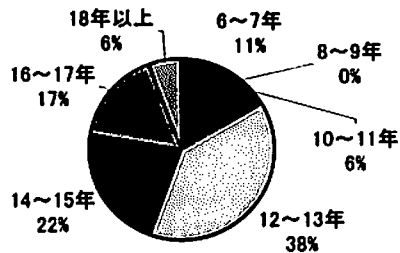
問1. 性別



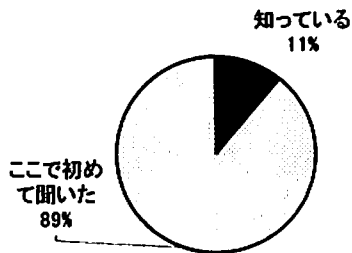
問2. 年齢



問3. 柳谷に何年住んでいるか



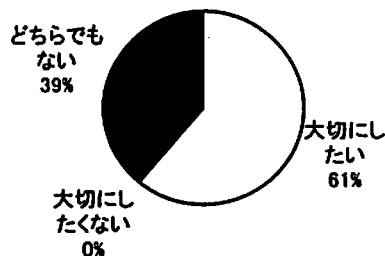
問4. 里づくり協議会を知っているか



問5. どのようにして里づくり協議会を知ったか。
(複数回答可)
回答者は問4. で「里づくり協議会を知っている」と答えた2人です。

- ・ 家族から聞いた。(2人)
- ・ 農協の人に教えてもらった。(1人)

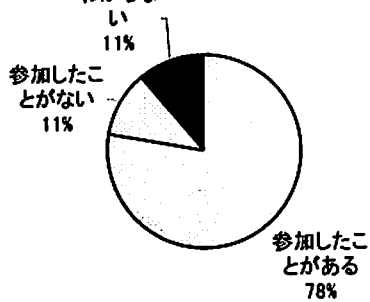
問6. 柳谷のお祭、伝統行事を大切にしていきたいか



問7. 大切にしたい行事名とその理由

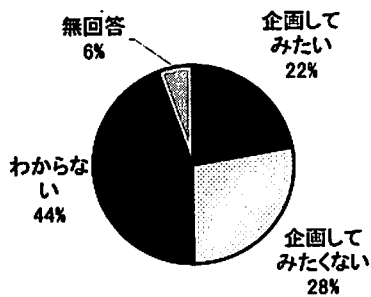
行事名	その理由
秋祭り(4人)...	昔の思い出があるから。 とても楽しい行事なので
だんじり...	これからも楽しい行事を続けていってほしいです。
百度掛.....	なんとなく見ていてい追力がある。
お正月と秋祭り、夏祭り...	おもしろいから
八王寺神社のお祭り、新年	氏子であるから。
全部(2人).....	八王子の氏子であるから。 全体的に 地区全体が活気づくから。

問8. 柳谷の行事、共同作業に参加したことがあるか



- 参加したことがある行事名**
- ・お当祭り、だんじり。
 - ・秋祭り、お当祭り、地藏祭り。
 - ・お当祭り、百度がけ、だんじり。
 - ・百度掛、山車。
 - ・町民運動会。盆踊り。(2人)
 - ・お当祭り、百度掛、たいこ。
 - ・秋祭り。
 - ・お祭。

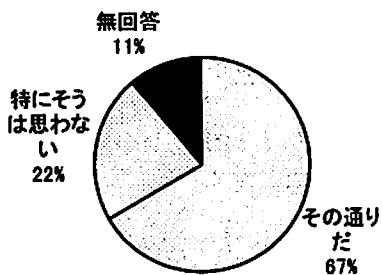
問9. 自分たちでイベントを企画してみたいと思うか



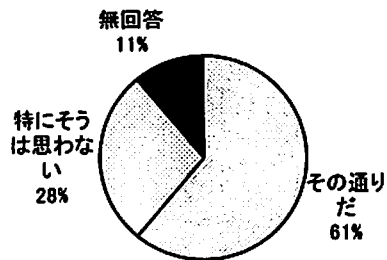
- 問10. 具体的に企画してみたいこと
- ・ラジコンのレース大会、ルアーフィッシング大会。
 - ・バザー、ゲーム大会。
 - ・募金活動。

問11. 柳谷についてどう思うか。以下の項目について「その通りだ」、「特にそうは思わない」のどちらかを選んでください。

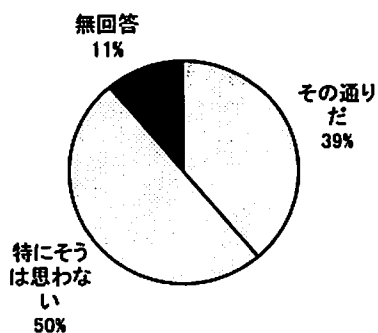
村の山並みがきれい



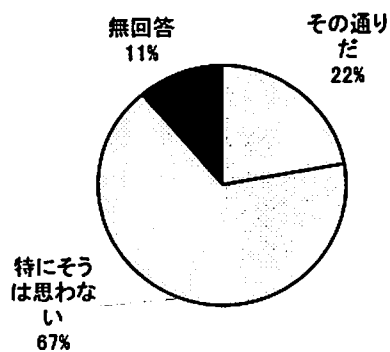
田んぼの風景が美しい



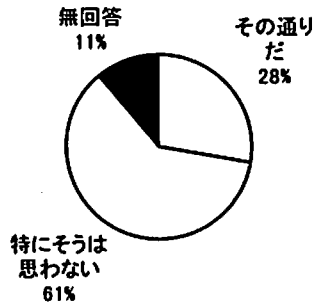
村の家並みが美しい



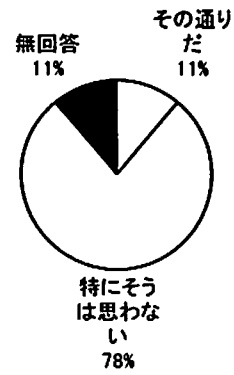
道路がきちんと整備されている



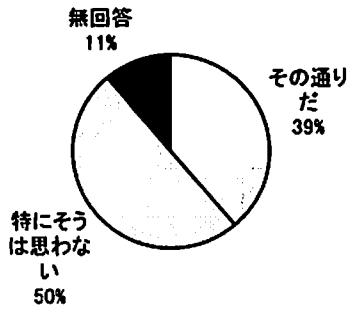
川の水がきれいだ



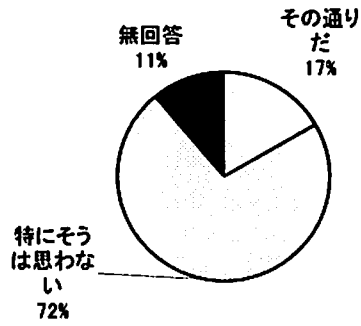
遊び場が十分にある



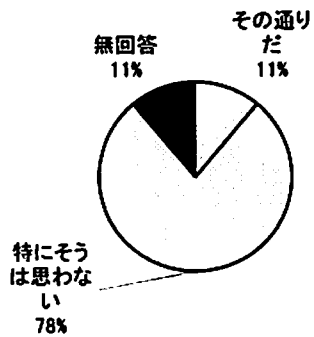
中学・高校に通いやすい



交通の便がよい



買い物に便利である



住み続けたい理由

- ・ 自分の生まれ育った所だから。
- ・ 豊かだから。
- ・ 落ち着くから。

住み続けたくない理由

- ・ 大学への通学に不便。
- ・ 将来住みたい所
- ・ 都市部(2人)

問12. 柳谷の好きなところ

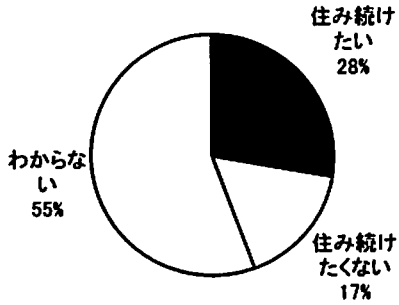
1つのマスが1人の人が書いてくれた意見です。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然がたくさんある。 ・ 村の人みんなが仲がいい。 ・ お祭がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校から遠くてもたくさん他にはない行事などがあっていい。 ・ 眺めがきれい。 ・ 楽しいことがたくさんある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夕焼けがきれい。 ・ 山などの自然が多い。 ・ 魚が池にいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が豊かだ。 ・ 行事がなかなかいい。 ・ 夏はずずしい。 ・ 町にはない良い所だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家が密集していないから、せまくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 田畑がある。 ・ 近くに高速道路がある。 ・ 空気がきれい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が多い。 ・ 行事がたくさんある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 空気がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 木がある。 	

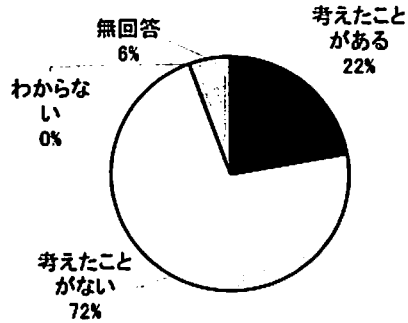
問12. 柳谷の改善してほしいところ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊ぶ場所を増やしてほしい。 ・ お店など増やしてほしい。 ・ もっと明るい村にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園がなくつまらない。 ・ 土砂崩れとかしているところをなおしてほしい。 ・ バスがないから困る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう少し道を平らにしてほしい。 ・ 公園をつくってほしい。 ・ ラジコンのサーキットをつくってほしい。 ・ 交通の便をよくしてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 別にない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路が多くて自然が少し少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 店をつくってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 電話ボックスをつけてほしい。 ・ 店を建ててほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドなどを近くに自由においてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バス停が近くにない。 ・ お店がない。 ・ 高速がうるさい。

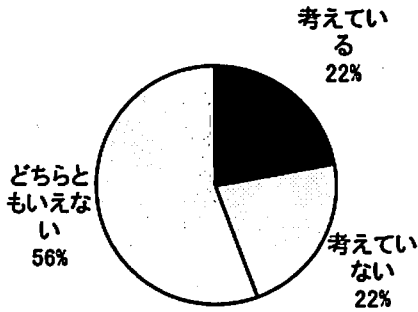
問13. 柳谷に住み続けたいと思うか



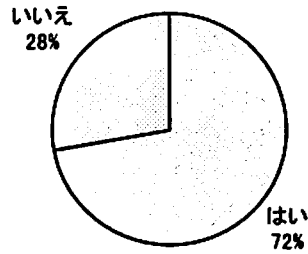
問15. 将来村がなくなるかもしれないと考えたことがあるか



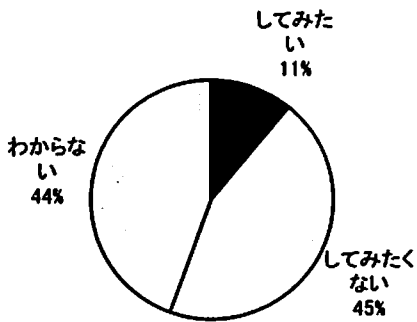
問16. 大人は村の将来を真剣に考えているか



問17. あなたの家は農家ですか



問18. 将来農業をしてみたいか



農業をしてみたい理由

- ・自分の努力が実るとうれしい。

農業をしたくない理由

- ・他にやりたいことがある。
- ・めんどくさい。
- ・長靴にへびが入るから。
- ・やりたくないから。

問19. 問18. で「将来農業をしてみたい」と答えた2人が回答者です。

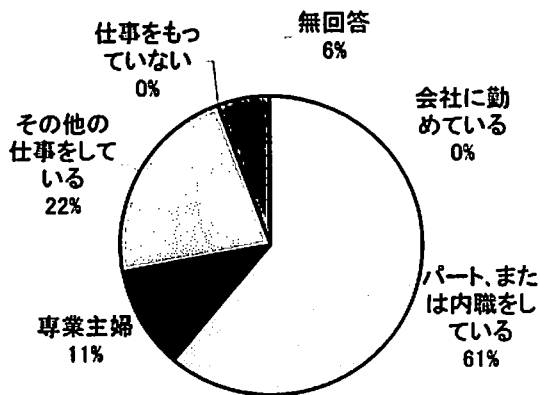
① どういう農家になりたいか

- ・兼業農家(2人)

② どういうものを作ってみたいか

- ・野菜、果物など。
- ・野菜、お米。

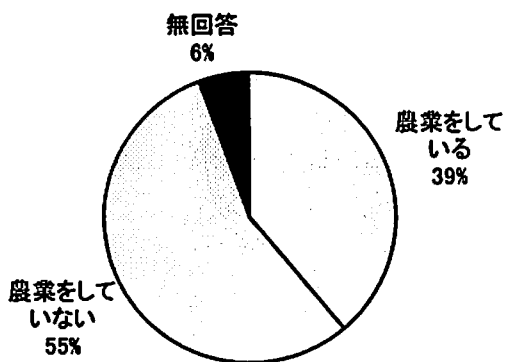
問20. あなたの母親の仕事は何



問 2 1. 母親と仕事についてどう思うか。

- ・ 無理しないでほしい。
- ・ たいへんだと思う。
- ・ 働いてくれるからうれしい。
- ・ 母さん働いてくれるからうれしい。
- ・ これでいい。
- ・ がんばってかせいでほしい。
- ・ 特に何も思わない。(2人)
- ・ 別に考えようとも思わない。
- ・ 別に……

問22. あなたの父親は農業をしているか



問 2 3. 父親と農業についてどう思うか。

- ・ がんばっていると思う。
- ・ すばらしい。
- ・ しんどそうだと思っています。
- ・ ああー農業で頑張ってるなー……
- ・ お米を買わなくていいから、うれしい。(野菜など)
- ・ いつも会社、消防とかでいつもがんばってくれているけど、たまには一緒に遊びたい。
- ・ 手伝っている。

問 2 4. 柳谷をよりよい里にするにはどうしたらよいと思うか。

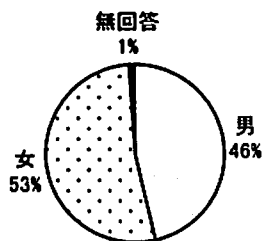
- ・ もっと買い物をするところを増やす。
- ・ 子供が遊べる公園をつくってほしいです。(みんなが楽しく)それとできたら道がせまいから、登校している時が一番怖いです。車が通ると人が歩くところがせまいから道が広がるといいなーと思っています。
- ・ もっと子供のことも考えて、ラジコンのサーキットやサッカーのできるグラウンドをつくってほしい。
- ・ 伝統の行事を大切にこのまま村をつくっていく。
- ・ 町民運動会、がんばってもらう。(応援団も)行事を続けてもらう。
- ・ 人口をあまり増やさず、森林を大切にする。

柳谷アンケート集計結果

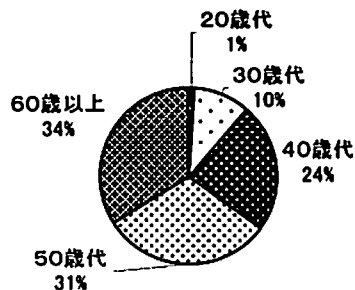
○柳谷の里づくりについて

柳谷在住の戸主の方とその配偶者の方、合計102名の方に回答していただきました

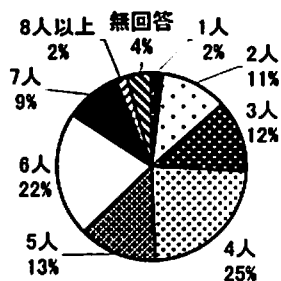
◎性別



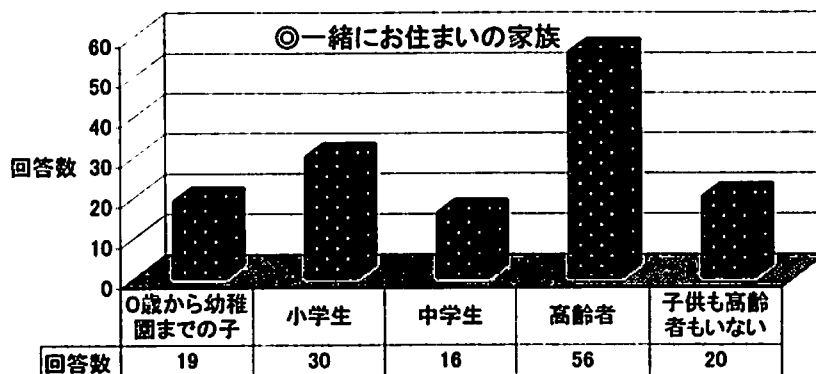
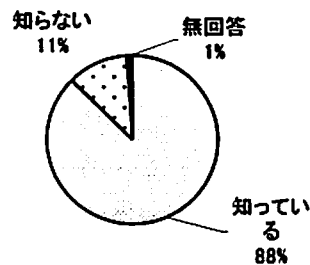
◎年齢



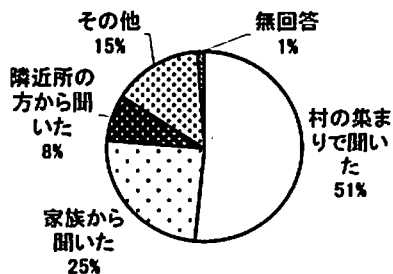
◎家族の人数



問1. 里づくり協議会を知っているか



問2. どのようにして協議会を知ったか

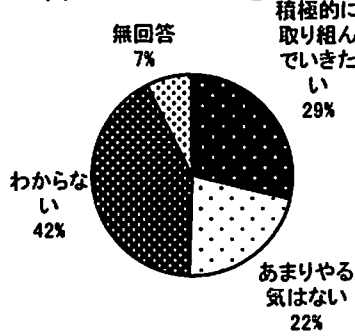


回答者は問1で「知っている」と答えた85人です。

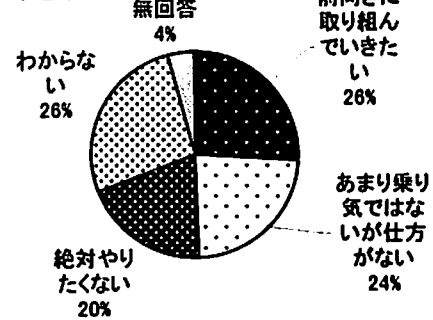
「その他」の具体的内容

- ・地域の広報誌にて。(8人)
- ・自治会役員のため。(2人)
- ・地区の役員から聞いた。
- ・町の自治会に関係しておりました。

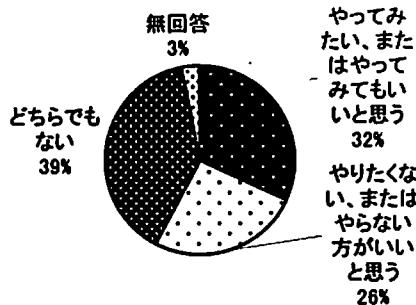
問3. 里づくり計画をどう思うか



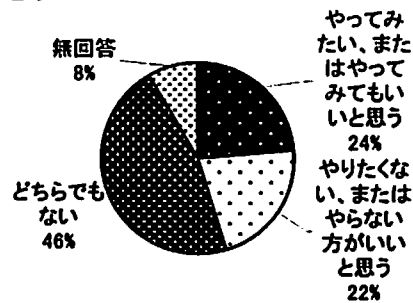
問4. 計画の責任者に任命されたらどう思うか



問5. 新規事業についてどう思うか



問6. 地域の介護活動についてどう思うか



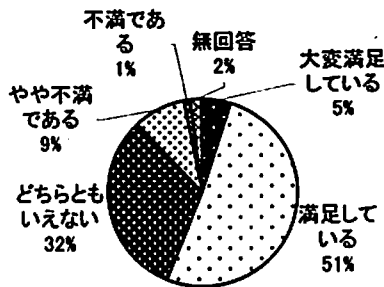
問7. 里づくりを進めていく上で、自分が協力できると思うこと

- ・都市化させないように運動する。
- ・柳谷で活動するには戸数、人数ともに少なく、個人負担が大きくなる。家にいるのは高齢者で、私も含めて活動できる年代は、仕事についています。定年後まで責任を持った活動はできません。
- ・パソコンの指導くらい。
- ・労力の提供。
- ・頭は使えないが、体力を使いたい。
- ・体力に応じて協力はしたいと思う。
- ・やればついて行きます。
- ・何か始まればついていく。
- ・休日にお手伝いできる事であれば何でも良いです。
- ・農家、非農家との区別はあるのでしょうか？農地が全くない家でも、協力できることがあれば協力して行くつもりです。
- ・月一回位なら、皆様と一緒に作業をさせて頂けたらうれしいです。
- ・現在、福祉活動を推進していく立場(職務)にあります。職務推進のためにも、可能な範囲で協力していきます。
- ・高齢者、一人暮らしの方のお宅訪問。
- ・稲の作り方を教えてあげる。(但し中級)パソコンを教えてあげる。囲碁を教えてあげる。私の微力な交渉力を提供できる。
- ・ボランティア活動。
- ・協力し合っていないといけないと思いますが、実際には話し合いにもまだ参加したことがないし、今はこういったアンケートに協力できるくらいです。具体的に決められていけば、それに協力できるかなと思います。昼間、仕事をもっている女性にでもできることがあれば、がんばらないといけないと思っています。
- ・乱開発はしない。自然を可能な限り残す。動物(キツネやタヌキ等)も住める里づくり。野鳥も住める里づくり。
- ・開発という名のもとに破壊することが当たり前という今であります。田畑、山林などもあまり人の手を入れ過ぎない以前からの状態を保ったところもあってよいと考えます。道路も地道のままのところも大事ではないか。以上のことでは協力できると思う。

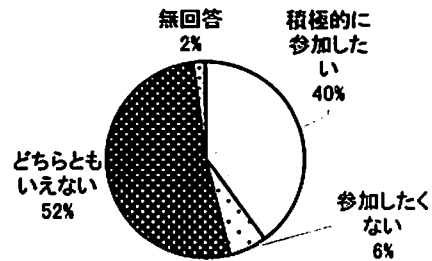
地道のままのところも大事ではないか。以上のことでは協力できると思う。

- ・ 人口の公園でなく、自然を破壊した上での里づくりでなく、今の自然を上手に使った里づくりをと、思います。里山を大切に、他、湿地を大切に、人間以外の動植物も大切にする。そういう里づくりを、と、思います。田んぼが荒れる(政府が悪い)のを見ていると、胸がしめつけられます。私が農業をしていませんので大きなことは言えませんが。
- ・ 討議に出席する。
- ・ 今の時点では、里づくり計画が漠然としているのでどんな協力ができるか答えにくいですが、上記の例でいうならば、販売員にもなるし、教えていただけるのなら生産者にもなる。又、福祉施設までもいれないが、宅老所のようなものが建てられれば食事作りや話し相手、趣味の教室(お年寄り向け)の手伝い等もできる。
- ・ 生産物の共同販売。
- ・ 高齢者だけが出来る範囲で協力したい。
- ・ 情報、意見等の提供。
- ・ 具体的に何をどのようにしようとしているのか、背写真がみえない。話し合いの場には参加したいと考える。
- ・ 年齢(定年)的な面で、時間的に集会、見学等参加出来ます。

問8. 柳谷の満足度



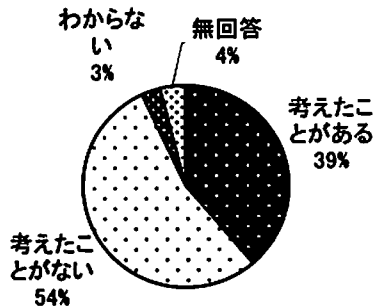
問9. 祭りや伝統行事についてどう思うか



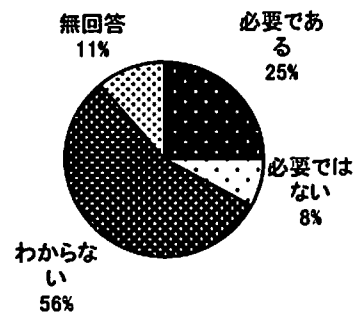
付け足しの意見

- ・ 「1. 積極的に参加したい」が参加資格に年齢制限があり、参加できない。
- ・ 「3. どちらともいえない」がもっと簡素化していきたい。

問10. 将来村がなくなると考えたことがあるか



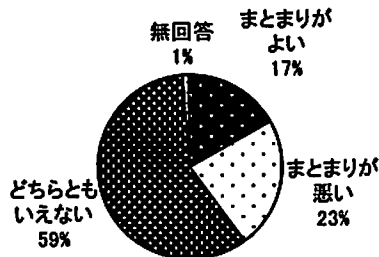
問11. 里づくり協議会、計画についてどう思うか



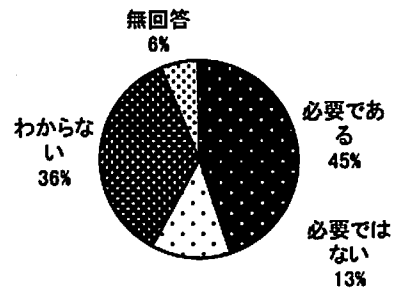
問11. 柳谷里づくり計画にぜひ取り入れとほしい項目

- ・都市型施設の導入。(福祉施設等) 荒廃田などの利用と特産品の生産販売。
- ・共有の土地利用。(地区の収入を考慮) 地区内に公園。手軽な集会場。(少人数のコミュニティ) 以上三つの夢。
- ・乱開発を絶対しない。
- ・何らかの事業。・老人ホーム。
- ・高齢者が参加できるプラン。
- ・自治会活動、婦人会活動との連携で、できないのでしょうか。それ以上の活動を目指しているのでしょうか。
- ・仕事をもつ主婦にも負担になり過ぎない程度に、皆と参加できること。又、新しく柳谷に住まれた方も参加してみたいと思えること。
- ・レクリエーションを設けてほしい。
- ・若い人はやはり、会社etcで収入を得た方が確実だと思う。定年退職をされた方達が、村おこし風に何かに携わっていきけるものを計画したい。私自身は、緑を保全した方が良いと考えているので、貸し農園でも作って村の人と町の人との交流を深めていければと思う。そうしながら利益になるものが生まれると良い。
- ・高齢者の生きがいを見つける事業、行事を取り入れたい。
- ・各家庭を基盤とした里のコミュニケーションづくり。
- ・観光農園。農業公園。
- ・休耕田・荒廃田の活用。荒廃田の有効利用。
- ・田畑を多目的に利用していくなど、考えてほしい。また、農業をするにしても、共同でやっていけるような工夫が出来ないか、現状では非常に不効率である。
- ・土地の有効利用。農業の進歩性。
- ・短期的計画でなく、長期的計画。21世紀と旧伝統。
- ・将来はライスセンターの加入も考える時が来る時が来るかも知れない。

問12. 柳谷の人間関係をどう思うか



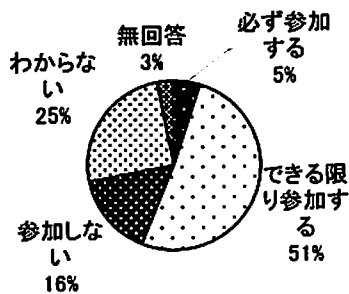
問13. 話し合いを増やすことについてどう思うか



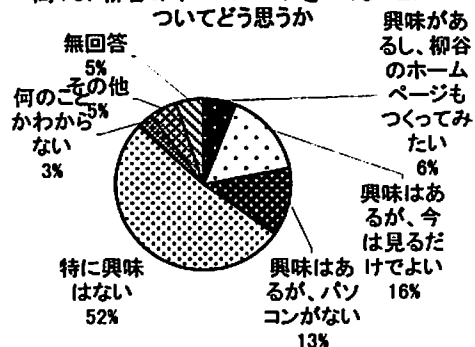
付け足しの意見

「2. まとまりが悪い」…八多町の中でも一番悪い。
 「3. どちらともいえない」…70歳以上の方たちは、旧方式(家の格式?)の付き合いが残っています。次の世代からは、今の人間関係でやりやすいです。

問14. 実際に話し合いに参加するか



問15. 柳谷のホームページをつくることについてどう思うか



問16. ①柳谷をより一層住みよい里にするには？改善すべきところ等。

生活環境の整備

- ・ 同じ国民、市民である以上、都市と同等のインフラ整備を急ぐべきである。
- ・ 下水道の完備（平成14年頃着工の予定になっている）
- ・ 非常に狭い道が多いので、広げる。下水が入る予定があるようだが、早く工事をしてほしい。
- ・ 道幅を広くできるところは広くして、植林をして、美しくする。又、花の種などをまく。（土手や休耕田など）公園のような所を作る。
- ・ 道路の整備。
- ・ 土砂くずれが多いところですので、地盤強化してほしい。
- ・ 下水道の完備。都市ガスを整備。道路整備。（地区内、農道）水の確保。（地区内及び農地内の水路に流れていない）
- ・ 今の時代にあった環境と伝統とのバランス。

協力・話し合い

- ・ もう少し柳谷地区の方々が、話し合いをしてほしい。
- ・ 民主的な地域にする必要がある。いくら「柳谷里づくり」という耳に聞こえの良い運動を計画しても、根本が間違っている。人間が人間として平等に、住みやすい郷土にしなければ絵にかいた餅であり、表面だけ装った地域社会となるでしょう。
- ・ 昔からの地形によるものかもしれないが、考え方が古い。近所との付き合いがオープンなところがない。西と東だけでも違っている。現在の高齢者の考え方は、理解しがたい。
- ・ 胸襟を開いた話し合いの機会から、村全体のコミュニケーションづくり。
- ・ 利己的な人が多いので簡単にはゆきません。
- ・ 個人主義はそれとして、地域をより一層住みよいところにするためには、お互いが認め合い支えあっていく中で、気楽さの中でも真剣な話し合いがなければ生まれない。
- ・ 集会を重ねて人間作りが第一歩だと思います。
- ・ どんな状態が住みよいかは、個人によってまちまちだと思います。私は、現状で十分です。虫の声、鳥の姿、野山の様子、人の心を育んでくれます。広範囲に動きませんので、「悪い」と感じておりません。人と人が仲良くなればいいです。住みよいかどうかは、道路や家などより、人間関係が一番だと思います。
- ・ 住民がまとまって、地域発展の改善に進んで提案できる場を持ちたい。
- ・ 方向付けが若い人達で行われたら、出来る範囲でついて行きたい。
- ・ 公会堂など無料解放して、何時でもいろいろな人が集える場にした方が良いと思います。（もっと積極的に使用した方が良い。）

自然環境・地形

- ・ 緑は守っていく必要があると思うが、荒れた田をどのようにしていくのか、全体的にどのように進めていくのか、ただ放置しているだけではますます荒れていく一方である。

- ・ 昔のしきたりの良い部分は残す。昔のしきたりの必要性の薄いものは簡素化していく。
- ・ 谷が多く平地が少ない。地形の改善を。
- ・ 地形的にむずかしい。つくづく広みの土地だったらナァと思う。

その他

- ・ 住む環境は決して悪くは無いと思われませんが、嫁と姑との対決が住居の関係上さげられないようだ。どうすれば良いか・・・教えてほしい。
- ・ 個人的な山林がある人が現地に居ない家があり、木が大きくなり困っていて、しかも道路まで伸び、いろいろ迷惑している。竹も切っていただきたい。
- ・ 高齢者の共同作業。
- ・ やる気があればもっと早く考えるべし。時期が遅い。この村は結構すぎるからね。
- ・ 農業を楽に出来るように考えていきたい。
- ・ 子供が少なくなってきた中で、今の子供達が将来住み続けて行けるように、年齢層広く取り組めることが何かないか考えたり、(藤原台が隣ということで、子供や親子連れがよく遊びに田んぼや川へ来ています。だから、柳谷だけの行事にも藤原台の子供が参加できるようになれば、とも思ったり。) 子供達、小4以上の子供に、柳谷の将来像、どうなっていてほしいと思うかアンケートに協力してもらっては？
- ・ 寺問題も早く解決が必要。
- ・ 都会の人を入れないこと。
- ・ 若者の参加率up。(祭り、年行事などに) そのためには、旧スタイルの見直し。新規事業を行う。(ボーリング大会等スポーツ、旅行・・・他)
- ・ 子供が生まれて小学校に行くようになった時、すぐ近所に小学校があるのに校区の違いで離れた学校に行かなければならない事。
- ・ 今はわからない。
- ・ 今のままで良い。

問16. ②現在は問題ないが、数年後、または数十年後に困ること。

- ・ 水田管理。(農機具費用の問題)
- ・ 道が狭い。歩道が少ない。
- ・ 近くにゴミステーションを設置していただきたい。(2人)
- ・ 人口減少。人材流出。高齢化。家庭崩壊。農業衰退。
- ・ 後継者が少なくなり、過疎化が進むのでは。
- ・ 食糧不足になった時、荒廃田の再生産が出来なくなる。
- ・ 世代が変わっていき、果たして田畑を守っていけるのかどうか不安である。
- ・ 農業の方向。次世代の引継ぎ。
- ・ 村に他所から人が入ってきて、慣習の違いなど。
- ・ 機械化は進み大型化していくが、農道が整備されていない。
- ・ 何でも新しくしていくと、しきたりや習慣が忘れられてしまい、若い人が困る時が必ずくる

と思います。がけ崩れの恐れのある所は、よく調べてください。

- ・ 特に何も困らない。困るとしたら各々の家でのことだろう。
- ・ 柳谷自治会、婦人会の今日の活動の中にも、すでに困ることがありますが、これらについても解決しようとする姿勢すら見えません。当然、将来困ることもたくさん発生することでしょう。
- ・ 道路あるいは昔から伝わっているものを今の我々の時に協力し、力と知恵を出し合って、後世の人々に喜んでいただけるようにしておかなければ、と思う。
- ・ 交通機関の不便性から、老後の交通手段、外出方法に対する不安を感じる。
- ・ 20世紀は損か得か、好きか嫌いかの時代であった。21世紀は心の世紀になると思う。
- ・ 農地の有効利用。(対価も安く、3Kが付きまとい、誰もが農業を後継しないのではないか)
- ・ 地域の発展がなく、社会の変革に取り残されること。
- ・ 老人の増加。農地の荒廃。新規住人。(よそ者と地元民との争い)
- ・ 自治会、消防、祭りなどの行事に若者が参加、継続しない。若者の地域離れ。
- ・ お寺・神社・祭りごとに若い人がやっていけるかどうか。
- ・ 婦人会活動も、将来的に見れば消滅していくと思う。とすれば、他の活動(例えば、ハイキング等、スポーツ)での交流が必要となるのではないのでしょうか。
- ・ 神社、お寺の維持。後継者にきちんと継いでおかないと、儀式や方法を全く知らない世代になってくる。その為には、今の親の代、60歳以上の定年後の方。
- ・ 主人が職を失っているかもしれない。子供達が、きちんと独立しているかどうか・・・心配。
- ・ 親が今は元気で普段仕事に行っている間、田畑をきりもりしてくれているが、自分達だけでやっていかなければならなくなった時、仕事+田畑+α里づくり、のことに取り組んでいけるかどうか不安、自信がない。
- ・ 1 市街地調整区域内のため、自己所有地を子供や兄弟のためにでも、宅地に転用しにくくしていることが、将来人口減少にもつながり、活力を失う一因となり、過疎化の恐れ有り。
2 新規就農のハードルの高さも懸念する。
- ・ 先のことはわからない。

問16. ③里づくりの一つとして取り組んでみたいと思うこと。

- ・ 今ある野菜から始め、徐々にメニューを増やし、ニーズにあった商品を考えて行く。団地に近い為、利用できないか何度も考えている。今、場所作りを考えている途中。(畑地利用)
- ・ 生産物の共同販売。
- ・ 稲作以外の生産物。
- ・ 人を巻き込んで、しょうもない事を始めないでほしい。
- ・ もう少し、柳谷地区が発展する事を祈ります。
- ・ 休耕田等を利用して「トンボの里」をつくる。
- ・ 里づくり=自然破壊と思えてならないのです。他の町を見ていて、そう思うのです。それで良いのかしらと疑問に思っています。昔の人が大切にしてくださっていたので、現在の自然

があるのです。子孫に良いものを残すには、どうしたら一番いいのか、今のところ模索中です。

- ・ この設問のように「柳谷の里づくり」というのは地域の経済活動のことを目的としているのでしょうか。
- ・ 柳谷周辺の団地に定年退職者も出始め、暇つぶしに農業（野菜作り）をやりたい人が多くなってきて、遊休農地を探す人を数多く見掛けるようになったので、花作り、野菜作りを講義する場を設け、実践し、それを販売する。こんな集まりを作りたい。
- ・ 昔の遊び、落ち葉を使った遊び、木、竹等を使って何かを作る楽しみを通して、喜びを得られることを肌身で体験していただければと思う。
- ・ 宅老所と貸し農園、ログハウス等が併設され、仕事あり、遊び（趣味）あり、喫茶ありという風な一区画がほしい。そこで近隣の人たちと交流したい。そして需要にあわせた供給ができるようになったらよい。又、この前TVで映していましたが、「草の根小学校」というのを開き、参加を募って小さな子供連れの家族と一緒に畑を作り、（一家族3坪位）とれた野菜をその場で料理したり、持ち帰ったり、自然と共存していてほほえましく見ました。
- ・ 農業振興対策も大変結構。より広範囲な里づくり対策、例えば高齢化、少子化、人口減少流出による家庭崩壊対策、家庭教育の確立への対策。
- ・ 減反農地を利用して、又交通の便利な柳谷を利用してできること、又自然が豊かなことを利用できること。

1 季節ごとに取れる自然食品を（春：竹の子、たら目、せり、ミツバ 夏：びわ、みょうが、野菜 e t c 秋：柿、渋柿、野菜）販売する。

2 季節ごとに取れる特産物をつくる。・・・販売できる場所を決める。

3 村の行事(祭 e t c)をオープンにする。

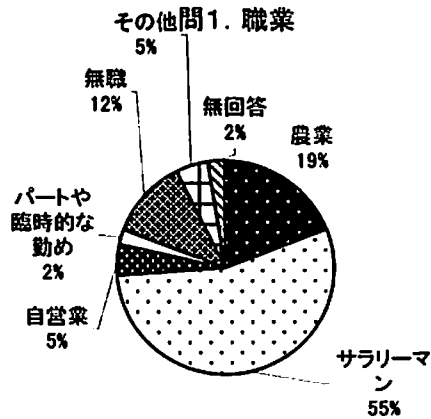
- ・ 篠山の黒豆、二郎のいちご。他地域でも数年かけて知名度を高めている。柳谷の土地柄、年間気候他をよく研究し、21世紀に向けた野菜、果実、無農薬野菜の即売、レストラン、スーパーなど、生産から販売を柳谷で行う。当然、上記に書かれているガーデニング、花、肥料、鉢、プランターなどの生産販売と、造園業も行うなど、ベジタブル a n d ガーデニングセンターを目指してはどうか。

低コストで高い利益を得るシステム作りが必要。そのためには、インターネット、パソコン化・・・他色々あるでしょうが、どれだけ人をこの柳谷に迎え入れる事が出来るかです。

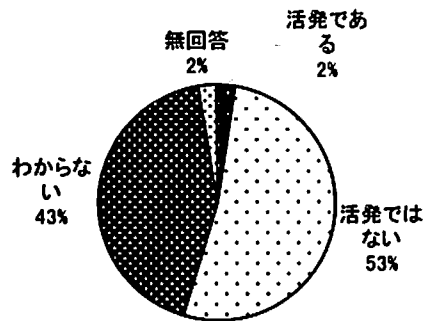
- ・ まだ取り組んでみたいことはありません。

○柳谷の農業について

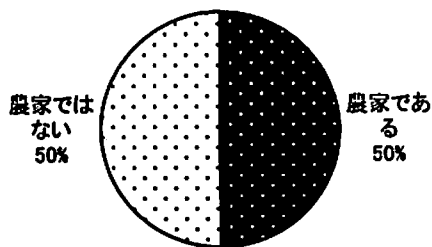
柳谷在住の戸主の方、**合計 43名の方**に回答していただきました。



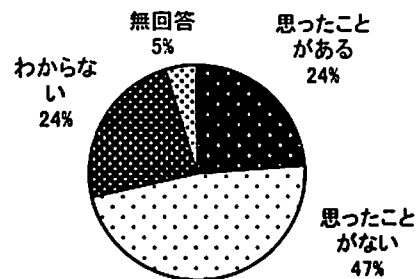
問2. 柳谷の農業全体をどう思うか



問3. あなたの家は農家ですか



問4. 定年後、農業をしたいと思っ
たことがあるか

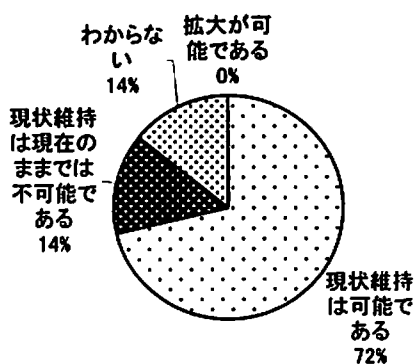


回答者は問3. で「農家ではない」と答えた21人で

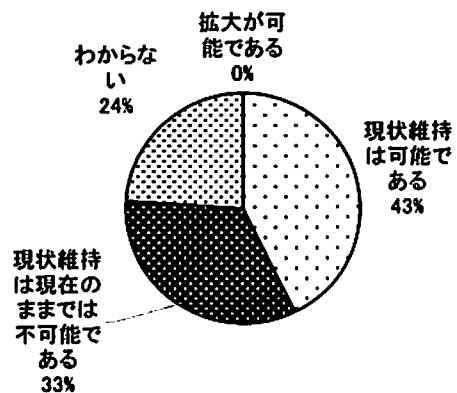
問5. 以降の質問は

問2. で「農家である」と答えた**22人の農家の方**に回答していただいた。

問5. ①5年後の農業について



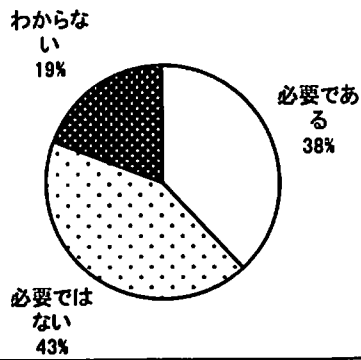
問5. ②10年後の農業について



問6. 営農組合結成についてどう思

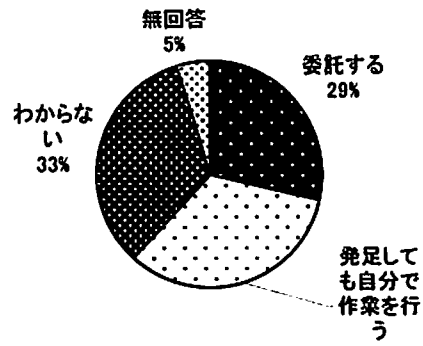
問7. 営農組合に農作業を委託する

問6. 営農組合結成についてどう思うか



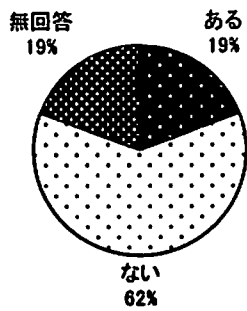
付け足しの意見
 「1. 必要である」…但し作業時期に難点がある。
 「3. わからない」…現状は全ての人が機械を持っている。この機械が使用不可になった時、そのような考え方になっていくことが望ましいと思う。

問7. 営農組合に農作業を委託するか



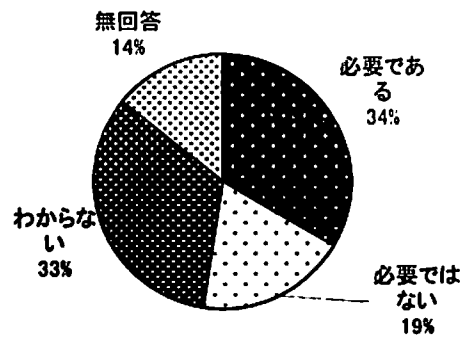
いつ頃から委託するか
 ・5年から10年後 (1人)

問8. 個人で新しく購入したい機械はあるか



具体的な機械名	購入予定時期
軽トラック	平成13年
田植え機	
籾摺り	

問9. 営農組合発足のための話し合いについてどう思うか



問10. 荒廃田利用のアイデア

- ・ 利益追求を目的とするのであれば、私は不可能と考えております。但し、老後の生きがい活動として何かをするのはいいことであると思いますが、生産する技術の体得が現実問題として難しいと思います。
- ・ 1 柳谷全体として水不足の土地が多いが、今から水利の設備を行うと思えば、莫大な資金を必要とするので、これは当面不可能である。従って、生産する作物は比較的水が少なくても出来る作物を選ぶべきである。例えば、最近国民の食生活において、大きな比重を占めるものとして麺類が挙げられている。(テレビの調査などで) 従ってソバであれば、水があまり必要でないので、栽培できるのではないかと思う。
2 特産物の種類(販路等を含めて)よく研究して選ぶべきである。
- ・ 1 花。(季節に合わせてつくる)
2 くだもの。(いちご、ぶどう)
3 野菜。(ねぎ、たまねぎ、レタス)
- ・ 1 加工品を考えれば(例 醤油、過去に有りました。(大豆利用)もち米の利用)
2 昨日新聞で消費地(団地、都会の一部)と産地との予約栽培方法も考えては?
- ・ もっと力を入れていきたいとは思っていますが、70歳近くになると気力が少なくなることがあります。
- ・ 共同販売所の設置など話し合われたが、場所、経営方法など、これからの研究課題となっている。水利問題、農道拡幅など解決へ進む道を探りたい。
- ・ 耕地整理が良く行われているが、「子孫に美田を残さず」という言葉があるが、美田を残すことさえ出来なかつたご先祖様(柳谷の現状)のことを考えると、私もそうなのかと思えます。
- ・ 先にも記述した通り、周囲の団地の農家出身者や、定年でサラリーマンをやめた人の多くが農業をやりたいがっている。この人々とともに、どんな作物でも良いから、最低10アール以上作る。これを共同作業で行い、またキノコ等、今までに経験の無いものにも手を伸ばしてみたい。とにかく1人では力は小さい。農業実践学校のような事もやってみてはどうかな?と思う。
- ・ 当地区では、何と云って作るものはないと思う。
- ・ 垂水区などでは、お米を生産するのは、各家の農家であるが、農協に全てだし、乾燥してもらい、玄米でその家の分が戻ってくるシステムが取られている。それでは、家に精米機は必要であるが、乾燥機は不要となる。設問とは関係ないが、そのようなことが考えられないかと思う。

問11. 営農組合を発足させることになった場合の問題点とその解決策。

- ・ 営農組合が発足しても、組合自身に貢献出来ることは何もない。
- ・ 1 使用時期が同一である。
2 使用頻度の差の解消方法。
3 現在の農地の状況では、一人で可能な面積が今まで以上に増加できない。

4 人件費の方が生産収益を上回る可能性がある。

・ 問題点

費用（現況の地形では？）の面で、両者がどうか。

解決策

土地（水田）の整備と農道の整備が急務であると思います。

- ・ 収入と時間の問題でしょう。農業のみで生活が出来るのなら、可能かな？

・ 問題点

1 組織作り。リーダーシップの取れる人、各方面に付き合いの広い方、あらゆる知識を持ち備えた方、または専門知識を持った方々で組織を作らないと、目標がボケてしまう。

2 利益、収益が上がらなかった場合はどうするのか。・・・組合員の配当は。

3 スタッフ、実作業員は、どのように選出？その給料は。

解決策

まずは高齢者の方の意識を変える必要有り。土地は他人に任せない、先祖の土地は守ると言う様な考えが有る。とにかく、この里づくり計画を実施、運営を行うためには、リーダーシップを取る人と、そのスタッフがパワフルでエネルギーでなければ進まない。専任職業にしないとダメ。役人では進まない。

・ 問題点

1 圃場整備ができないので、無理・・・

2 農業を請合うものがないと思う。無理・・・

・ 問題点

お金です。農機の 円/日（現在個人の所有の機械の提供）と、人力の 円/日（能力の差）との調整。

解決策

中国やソ連の共産国では、どうしているのかわからない。機械購入費の $1 / 1000 = 1$ 人力？または0.5人力のような定数を作ってはどうか。

とにかく新しい営農組合は当面機械購入の必要はないと思う。

・ 問題点

1 サラリーマン家庭が多く、一時に作業が集中し、メリットが少ない。

2 農道等の未整備のため効率が非常に悪い。

3 水が無い。

解決策

水の保有。農道等の整備。

・ 問題点

柳谷里づくりの計画の中で、大口の荒廃田を持っている家は、農業をしていない家がほとんどで、水量の少ない家が、荒廃田の多い農業のできない家である。

解決策

このような家には国も転作の免除をし、生産者を斡旋する事。

- ・ 問題点

作付け品種が同じで、作業日程の調整が難しい。地形的に大型機械の入らないところがある。

解決策

農業部会で取り組む。

- ・ 問題点

1 営農組合を結成するに当たっては、最初から大人数の参加は難しいと思うので、最初は少人数からでも出発して、営農組合の意義を一人でも多くの人に理解してもらうよう、啓蒙して徐々に輪を広げて行くようにすればよい。

2 荒廃田の借受。(荒廃田の土地所有者は非農家で地区外に居住している人が多い。)

3 借地料をどうするか。

4 農機具の調達、及び肥料等の調達資金。

解決策

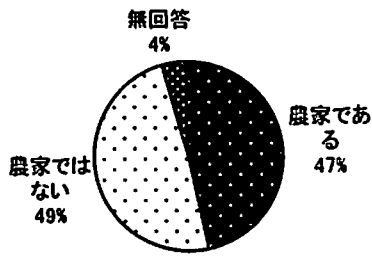
2, 3については、荒廃田を復元して農地として利用すれば土地の保全にも役立つ等、土地所有者の理解を求める。借地料については、里づくりの意義を理解して頂き、最小限に願います。

4 農機具については、現在自己が所有している器具を持ち寄って使用すれば、農機具の有効利用にもなる。肥料・農薬等の購入資金は、最初各自の出資を必要とする。

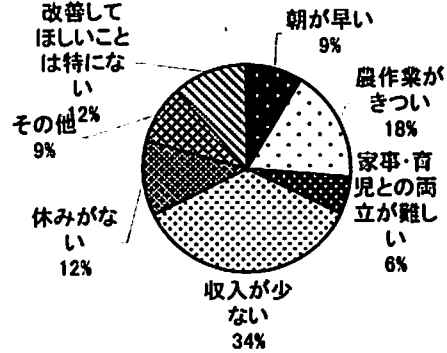
○女性の活動について

柳谷地区在住の戸主の配偶者の方、**合計46人の方**に回答していただきました。

問1. あなたの家は農家ですか

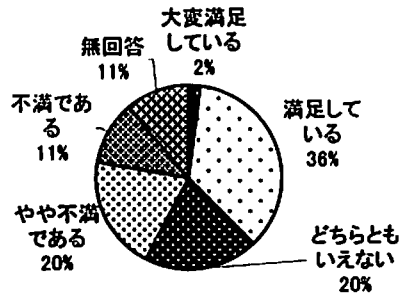


問2. 農家の嫁として大変なこと

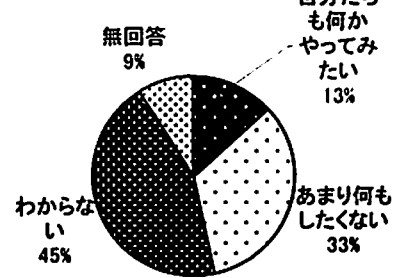


回答者は問1. で「農家である」と答えた21人です。
「その他」の具体的内容
 ・田植え時、収穫時と集中して忙しく、重労働である。
 ・家事+育児+α仕事のトリプル主婦なので、その両立が大変。

問3. 余暇の量についてどう思うか

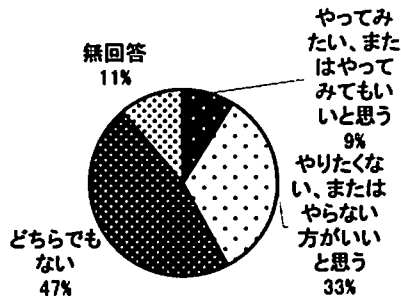


問4. 女性中心の村づくり活動についてどう思うか

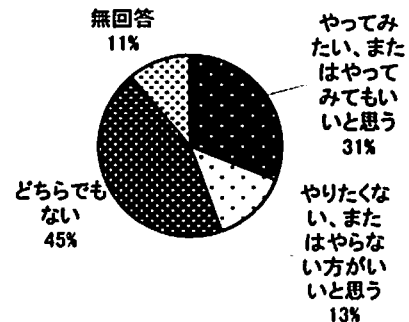


具体的に取り組んでみたいこと
 ・カラオケ、画

問5. ①隣接住宅街への野菜販売



問5. ②地域の介護活動



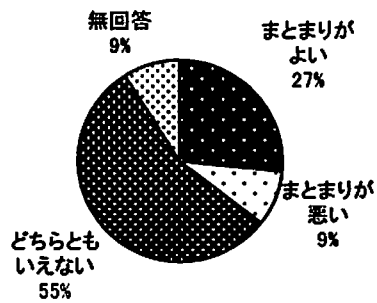
付け足しの意見

・販売店を決める(各スーパー)か柳谷のみの販売場所の確保するとか、当番制にするとか、何でも売れるようにするとか。
 ・最近野菜作りを皆が始めているので、時間を決めて買いに来てもらう。

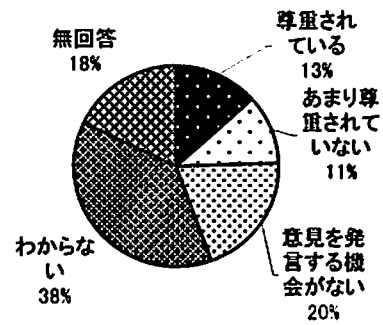
問5. ③その他取り組んでみたいこと。

- ・積極的に取り組んでみたいと思うけれど、仕事をする主婦でもできること、という時間も日も限られてしまうのが残念です。協力できることがあれば、皆とやりたいと思う。
- ・介護活動について→どこの家にも高齢者がいます。どこの嫁も働いているので自分の家のことで精一杯だと思います。

問6. 女性同士の付き合いについてどう思うか



問7. 女性の意見はどう扱われているか



問 8. 女性が考える荒廃田利用のアイデア。

- ・ 有機農法や減農薬栽培というのでは無く、まったく農薬を使わない、肥料は自然のものといった様な自然農法を取り入れると良いのでは、と思います。消費者が安心して食べられるものを生産してはどうでしょうか。
- ・ 特産品には、生産の時期があるので、その事を書いたパンフレットを作ったらどうですか。
例) 5から6月 イチゴ、7から8月 イチジク、10月 枝豆、11月 サツマイモなど・・・
もし可能なら、新聞の折込みや市役所の観光案内などにおいてもらうなど。
- ・ 自分たちが生産して売るという事は採算に合わないと思います。貸し農園を作って野菜を作りたいという方に指導したり、日々の管理などをして利用するほうが良いと思います。
- ・ 寒さ暑さに強い草花とかハーブを植えてはどうですか。特産品を生産するにしても、いのししが食ってしまうので、それが先決問題です。県道は良いが、里道をもっと手入れしてほしい。
- ・ あまり女性の意見が通らないように思います。
- ・ 柳谷は阪神高速や北六甲有料 e t c、町の人が来て下さるのにずいぶん近くなったと思います。今、町の方では、土地を貸してくれる人はいないかと探している方も、結構おられるように聞きます。前ページにも記しましたが、都会の家族の方に（親子連れ）利用して頂ける土地を用意して、土や草花、虫といった自然に接して、情操豊かな子供さんを育てる役割ができればいいなと思います。もう一つは、宅老所を建てて、そこに通ってこられる老人の方が野菜作りのインストラクターになって、都会の方たちとも一緒に交流できればいいなとも考えます。人が寄ってくるようなものを考えないと、この村はさびれて発展していかないと思います。
※特産品というのが何になるのかわかりませんが、野菜全般、その加工食品、花 e t c は生産できます。
- ・ 各家、田畑によって、日当たりも土もそれぞれ違うと思うので、それぞれに応じたものが作れたらいいと思います。各家の田畑については、その家の方が一番よく知っておられるので、各家の調査アンケート表を配って、田畑の状態を判断する。例) 日当たりについて、土の状態、水はけ、家で一番おいしい野菜は何？ e t c それによって何が適しているかが検討できるのでは？新しい特産品でもいいし、今まで作っているものの量を増やしてもいいし（作りやすい）と思います。
- ・ 政府の方針で、あんなに荒れた田んぼを見るのは悲しいことです。が、私の家は田がありませんので、大きなことは言えません。農家の方に時間が有れば、荒れた田に花を植えたり出来ますが、それも無理かも知れませんし。近くのスーパーと契約して、農家から直接その店へおろすような野菜など、どうでしょうか。

問 9. 女性の立場から見た里づくり。

- ・ 里づくり＝自然破壊ではないと思います。自然の利用＝自然の破壊ではないと思います。ある理科の先生がおっしゃいました。「こちらの方へくると、都会にはない植物がいっぱい

ある。非常に珍しいものが沢山ある。百ではなく千の単位でありますよ。いいところですねえ。しかし、この状態がいつまで保たれるか、心配です。」あれから十年余りで、どんどん破壊され、土地や道端の植物が姿を消しました。本当の里づくりとは何なのでしょう。地球上に住んでいるものとして、生ゴミの再利用は大変良いことと思います。

- ・ 女性の意見を取り上げてみたら、と思う。
- ・ 月に一回位、小さなグループを作り、手芸とか園芸とか、好きな人だけ日を設けて座談会形式をとるなりして、少しずつ発展して行くようにすればどうでしょうか。バイトもしている方もありますので、その点話し合っただけではいかがですか。
- ・ 結婚祝や出産祝いなどの内祝の品が、押入れや蔵に山のようにたまっています。タオル、シーツ、石鹸など・・・使い切れない品物をもらう内祝の制度を、柳谷の中だけでもやめるといような事はできないものなのでしょうか。我家の蔵の中には、人数分には不足した食器や（7人家族に5コ入りをもらっても使えない）タオル、シーツ、バスマット、などが眠っています。お付き合い（近所づきあい）の簡素化を考えていただけませんか。
- ・ 荒廃田を利用して、何かを作り、育てる事は、とても良い事だと思います。それには指導者も必要です。最近では、隣近所で顔を合わせて話をする事も少なくなりました。色んな時代が混ざり合っただけで、一つのもを生産する事は楽しいかも知れない。しかし、働いている人がほとんどの現在、難しい事だと思います。
- ・ 十分な話し合いの上で取り組んで行かないと、スタートを間違ったら一部の人がだけ、一生懸命になっても里づくりとは言えないので、時間をかけてやって欲しい。一部の人がだけだと責任感から負担になってくると思う。
- ・ 兼業農家が多い中で、実際に里作りに協力できる時間のある人がどれだけいるか、又、そのようなことをやっていることも知らなかった者としては、一部の人で終わってしまうのではないかなと思う。何かとホームヘルパーや介護講習と昨今言われてもはやされているが、簡単に人のお世話などできるものではなく、講習や知識だけに終わると思われる。ホームヘルパーの養成は、その地位の確保、収入の安定などが必要。その為には、もっと制度を確立すること、やる気があるならボランティアから始めてみる方が良いと思う。
- ・ 女性も男性と同じく会社勤めをされていて、家庭にいる方は子育ての間だけですので、今のままのほうが良いのと違いますか。
- ・ 実際に特産品を作るとなった時、今現在、田畑を手伝ったりしておられる方が何人ほどおられるのでしょうか？又、非農家の方もおられるのでは？そういう方でも参加できることがあるか、参加したいと思えることがあればいいのかなと思います。仕事をもつ主婦でもできることがあれば取り組みたいと思います。
- ・ 他からの転入のため、あまり深くかかわっていないため良く分かりません。
- ・ もう少し、柳谷地区に娯楽の施設場所が欲しいものです。
- ・ 特産品を生産する・・・と言っても、最近では仕事（会社、パート）を持っておられる方が多いので、実際に参加できる人は少なく、大変なのではないでしょうか？